



# Fiery IQ Help for Industrial and Large Format presses

© 2025 Fiery, LLC. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2025 年 10 月 23 日

# 目次

Fiery IQ .....	7
サポート対象のブラウザおよびオペレーティングシステム .....	8
サポートプリントデバイス .....	8
定義 .....	8
Fiery アカウントログイン情報を使用して Fiery IQ にアクセスする .....	9
アカウント設定のアップデート .....	10
Fiery Dashboard .....	11
デバイスの表示名を変更する .....	12
Fiery IQ でのアクティブなアプリケーションの変更 .....	13
会社アカウントの切り替え .....	13
 Fiery Admin console .....	 14
会社アカウントに新しいユーザーを追加する .....	14
会社アカウントに新しいユーザーグループを追加する .....	14
グループにユーザーを追加する .....	15
ユーザーロールの変更 .....	15
ユーザーの削除 .....	16
新しいシフトの追加 .....	16
シフトの削除 .....	16
シフトの編集 .....	17
デバイスの詳細を表示する .....	17
デバイスのトラッキング停止 .....	17
デバイスのトラッキング開始 .....	18
デバイスの削除 .....	18
デバイスコレクションの作成 .....	18
会社設定の指定 .....	19
プレスの Fiery IQ アプリケーションライセンス .....	19
ライセンスの表示 .....	20
新規ライセンスを追加する .....	20
ライセンスを割り当て .....	21
ライセンスの削除 .....	21
SFTP アカウントの構成 .....	21
設定用の SFTP アカウントを追加する .....	21
設定用の SFTP アカウントを編集する .....	22
設定用の SFTP アカウントを削除する .....	23

EFI Go .....	24
サポートされるモバイルデバイス .....	24
サポートプリントデバイス .....	24
デバイス情報の表示 .....	24
デバイスログの表示 .....	25
デバイスの状態の表示 .....	25
ジョブを検索する .....	25
通知の表示 .....	26
My Inks .....	26
インクの検索 .....	27
新規インクを追加 .....	27
インクの編集 .....	28
インクの削除 .....	28
インク順序のおすすめ設定を変更する .....	28
EFI Go で Fiery IQ からログオフ .....	28
 Fiery Insight .....	 30
対応プリントデバイス .....	30
ジョブログのダウンロード .....	30
ジョブログ列の設定 .....	31
ジョブログ列 .....	31
プリンター利用率の表示 .....	38
プレスを比較する .....	38
グラフの表示を変更する .....	39
選択したプレスの変更 .....	39
シフト変更 .....	40
 産業用プレス向け Fiery IQ .....	 41
Fiery Cloud Connector .....	41
サポートプリントデバイス .....	41
Fiery サーバーに Fiery Cloud Connector をインストール .....	42
Fiery Cloud Connector のトラッキング状況 .....	42
Fiery ColorGuard .....	43
サポートプリントデバイス .....	43
Fiery ColorGuard web アプリケーション .....	44
Fiery ColorGuard クライアントアプリケーション .....	57
Fiery Manage .....	78

サポートプリントデバイス	78
同期パッケージの作成	79
同期パッケージのデプロイ	79
コンプライアンスの確認	79
Fiery サーバー設定をダウンロード	80
Fiery Notify	80
サポートプリントデバイス	80
プロダクションブロックイベントに関する警告を有効にする	81
プロダクションレポートの通知を有効にする	81
警告と通知の変更	81
設定レポート	82
警告の無効化	86
<b>大型プレス用 Fiery IQ</b>	<b>87</b>
Fiery Cloud Connector	87
サポートプリントデバイス	87
インストール	87
Fiery Cloud Connector のトラッキング状況	88
Fiery InkWise (BETA)	88
サポートプリントデバイス	88
Fiery InkWise を設定する	88
InkWise 在庫	89
InkWise (BETA)	93
サポートされるモバイルデバイス	93
サポートプリントデバイス	93
インクの検索	93
インク詳細	94
インクの追加および変更	94
ボトル予備数の変更	95
インクの削除	95
プレス詳細の表示	95
インク順序のおすすめ設定を変更する	96
通知の表示	96
InkWise からのログオフ	96
Fiery Notify	96
サポートプリントデバイス	96
プロダクションブロックイベントに関する警告を有効にする	97
プロダクションレポートの通知を有効にする	97

警告と通知の変更 .....	97
警告の無効化 .....	98
 Fiery IQ のトラブルシューティング .....	 99
登録メールが届きませんでした .....	99

# Fiery IQ

Fiery IQ は、印刷サービスプロバイダーの豊富な web アプリケーションを含むクラウドアプリケーションおよびサービスです。

Fiery IQ アプリケーションスイートの web アプリケーションを使用すると、印刷操作が簡素化され、改善されます。プレスをリモートで監視することにより、ダウンタイムを短縮し、生産性を最大限に向上することができます。Fiery IQ は印刷プロダクション分析を提供するので、よりスマートで情報に基づいた意思決定を行うことができます。

既存の Fiery アカウントを使用するか新しい Fiery アカウントを作成して、Fiery IQ にサインインすれば、Fiery IQ クラウドサービスにアクセスできます。詳細は、[Fiery アカウントログイン情報を使用して Fiery IQ にアクセスする](#)（9 ページ）を参照してください。

Fiery IQ には次のクラウドアプリケーションが含まれています。

- **Fiery Dashboard**

その日の主要なプロダクション指標をリアルタイムに把握できます。

- **Fiery Cloud Connector**

プレスを Fiery IQ に接続します。

- **Fiery ColorGuard**

合理化されたカラー検証プロセスにより、デバイスで一貫した正確なカラー品質を実現します。

Fiery ColorGuard は産業用プレスに対応しています。詳細は、[Fiery ColorGuard](#)（43 ページ）を参照してください。

**メモ：**サブスクリプションで Fiery ColorGuard をアクティベートできます。

- **Fiery Manage**

リモートでプレスの監視およびトラブルシューティングを行い、プロダクションブロックイベントを特定し、会社の標準操作手順を遵守します。

Fiery Manage は産業用プレスに対応しています。詳細は、[Fiery Manage](#)（78 ページ）を参照してください。

**メモ：**サブスクリプションで Fiery Manage をアクティベートできます。

- **EFI Go**

プレスの状況や送信されたジョブを確認し、モバイルデバイスで履歴を表示します。

- **Fiery Insight**

正確なプロダクショントラッキングにより、プレスの稼働率と利益を最大化します。

**メモ：**サブスクリプションしていれば Fiery Insight をアクティベートできます。

- Fiery InkWise (BETA)

インクの在庫維持費を削減し、実消費量と予想消費量、および在庫に基づいたインク注文のスマートおすすめを提供します。

Fiery InkWise は大型プレスに対応しています。詳細は、[Fiery InkWise \(BETA\)](#) (88 ページ) を参照してください。

- InkWise (BETA)

インクラベルをスキャンすることで新規インクを追加したり、インク在庫を表示したり、予備インク量を変更したりします。

- Fiery Notify

プロダクションレポートの定期配信とプロダクションブロックイベントの警告を有効にします。

## サポート対象のブラウザおよびオペレーティングシステム

クラウドアプリケーションとサービスの Fiery IQ スイートパッケージは、次のブラウザとオペレーティングシステムをサポートしています。

ブラウザー

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

## オペレーティングシステム

**メモ：**Fiery IQ クライアントアプリケーションは、x64 ビットのオペレーティングシステムのみをサポートしています。

- Windows 10 以降
- macOS Catalina 10.15 以降

## サポートプリントデバイス

Fiery IQ は、Fiery システムソフトウェア FS200/200 Pro 以降を実行する Fiery サーバーに接続された産業用プレス および大型プレスに対応しています。

現在サポートしている産業用プレスおよび大型プレスのリストは、<https://resources.fierly.com/iq/supported-printers> を参照してください。



## 定義

下記は本書でよく使用されている用語の定義です。

- 企業またはカスタマーとは、1 つ以上の Fiery IQ アプリケーションを使用するエンティティです。  
会社アカウントを作成する際には、会社名、物理アドレス、および会社 アカウントの所有者であるデフォルト、少なくとも 1 つのユーザーを指定します。会社の詳細を指定することによって、後で同じ会社アカウントに関連する可能性がある他の個人ユーザーを識別することもできます。
- テナントアカウントは Fiery IQ クラウドを利用する会社ごとに作成されます。
- ユーザーはテナントアカウント内の個人です。ユーザーアカウントを持つ人は、ユーザー権限に関連する一意のログイン名で Fiery IQ にログインします。追加のユーザーアカウントは、テナント管理者の裁量で作成できます。  
ユーザー属性には、姓名、会社（ユーザーが属するテナントアカウント）、ユーザーロール、割り当てられたプレス（個々のプレスまたはプレスコレクション）が含まれます。
- Fiery IQ の管理者とは、Fiery IQ 内での管理者権限を有するユーザーのことです。Fiery IQ の管理者ユーザーは、ユーザー、グループ、デバイスおよび会社を管理できます。Fiery IQ の管理者は、テナントアカウント内の他のユーザーに管理者権限を付与できます。
- グループは、テナントアカウントに登録済みのデバイスへのアクセスをユーザーに許可するために使用されます。  
Fiery IQ の管理者は、ユーザーが特定のデバイスにアクセスできるように、単一のグループまたは複数のグループに割り当てることができます。
- デバイスとは、Fiery サーバーを介して Fiery IQ クラウドに接続されているプレスのことです。

## Fiery アカウントログイン情報を使用して Fiery IQ にアクセスする

既存の Fiery アカウントを使用するか新しい Fiery アカウントを作成して、Fiery IQ にサインインすれば、Fiery IQ クラウドサービスにアクセスできます。

**メモ：**新しい Fiery アカウントを作成するには、有効な E メールアドレスが必要です。

Fiery IQ クラウドサービスにアクセスするには、既存の Fiery アカウントを会社に関連付ける必要があります。既存の Fiery アカウントでサインインした場合は、手順 7（10 ページ）に進み、会社情報をアップデートします。

1 ブラウザから、<https://iq.fiery.com> に移動します。

2 **サインアップ**をクリックします。

3 テキストフィールドに情報を入力します。

**メモ：**アスタリスクが付いたテキストフィールドは必須です。

4 **続行**をクリックします。

Fiery IQ は、6 桁のコードを記載した登録メールをメールアドレスに送信します。

- 5 メールアドレスを確認するには、この 6 桁のコードを入力して**続行**をクリックします。

**メモ：**確認メールが届かない場合は、スパムや迷惑メールフォルダをチェックしてください。(Fiery IQ の [トラブルシューティング](#) (99 ページ) を参照)。

- 6 **続行**をクリックします。

- 7 会社情報を入力し、**続行**をクリックします。

**メモ：**アスタリスクが付いたテキストフィールドは必須です。

- 8 次のいずれかの操作を行います。

- 既存の会社アカウントに参加する場合は、**追加を要求**をクリックします。

Fiery IQ は、会社のシステム管理者に要求を送信します。要求が承認されると、Fiery IQ にアクセスできます。

- 独自の会社アカウントを作成する場合は、**会社アカウントの作成**をクリックします。

- 9 必要に応じて、**続行**をクリックします。

- 10 必要に応じて、Fiery アカウントのログイン情報を使用して Fiery IQ にサインインします。

- 11 画面の指示に従って、使用中の産業用プレスを Fiery IQ に接続します。

産業用プレスと Fiery IQ の接続については、[Fiery Cloud Connector](#) (41 ページ) を参照してください。

大型プレスと Fiery IQ の接続については、[Fiery Cloud Connector](#) (87 ページ) を参照してください。

## アカウント設定のアップデート

Fiery IQ で、個人情報、パスワード、会社情報、マルチアカウント情報をアップデートまたは表示できます。

- 1 Fiery アカウントのログイン情報を使用して、Fiery IQ にログオンします。

Fiery Dashboard が表示されます。

- 2 右上隅の⊗をクリックし、**ユーザー設定**を選択します。

- 3 必要に応じて、次の情報を変更します。

- 個人情報や会社情報を変更するには、適切なウィジェットの**編集**をクリックします。

- Fiery アカウントに関連付けられている会社を削除する場合、**会社を離れる**をクリックして、**確認**をクリックします。

**メモ：**システム管理者およびオペレーターユーザーのみが会社を離れることができます。最後の管理者ユーザーが会社を離れると、会社アカウントが削除され、会社アカウントの他のユーザーは Fiery IQ を使用できません。


- Fiery アカウントのパスワードを変更する場合は、**パスワード変更**をクリックし、画面の指示に従います。

- Fiery アカウントを削除する場合は、**アカウントを削除**をクリックし、画面の指示に従って、E メールアドレスに送信される 6 桁のワンタイムパスワード (OTP) を入力します。  
  
**メモ：**最後の管理者ユーザーが Fiery アカウントを削除すると、会社アカウントは削除され、会社アカウントの他のユーザーは Fiery IQ を使用できなくなります。
- E メール設定を変更する場合は、**E メール通知設定**をクリックし、設定に応じてチェックボックスをオンまたはオフにして、**確認**をクリックします。

## Fiery Dashboard


Fiery IQ クラウドアプリケーションにログインした後、Fiery Dashboard の Web ページを表示できます。

Dashboard では、次のことができます。

- 次の詳細を含むすべてのプレスの概要を表示します。
  - **デバイス数合計** {nbh} Fiery IQ に登録されているすべてのプレス
  - **エラーデバイス** {nbh} 現在エラー状態にあるプレスの台数
  - **オフラインデバイス** {nbh} 現在オフラインになっているプレスの台数
  - **印刷済みジョブ** {nbh} すべてのプレスで印刷されたジョブ数
  - **ユーザー数合計** {nbh} Fiery IQ に登録されたユーザー数
  - **使用率** {nbh} 水平バーにあるすべてのプレスの累積使用率で、**使用可能**、**エラー**、**印刷中**、**未接続**など、プレスの状況をもとに使用時間を表示
- 次のクラウドアプリケーションにアクセスします。
  - **InkWise**  
Fiery InkWise は大型プレスに対応
  - **ColorGuard**  
Fiery ColorGuard は産業用プレスに対応
  - **Manage**  
Fiery Manage は産業用プレスに対応
  - **Insight**
  - **Notify**
- 使用中のプレスの概要を表示する方法を次から選択します。
  - **グリッドビュー** {nbh} Fiery Dashboard のデフォルトビュー  
をクリックして、グリッドビューで使用中のプレスの概要にアクセスします。  
各タイルには、個々のプレスが現在の状況と次の印刷プロパティとともに表示されます。
    - **印刷済みジョブ** {nbh} プレスで印刷されたジョブ数
    - **印刷回数** {nbh} すべての印刷済みジョブの印刷済みページ数
    - **カラー印刷回数** {nbh} すべての印刷済みジョブの印刷済みカラーページ数

- **白黒印刷回数** {nbh} すべての印刷済みジョブの印刷済み白黒ページ数
- **印刷済みの長さ** {nbh} 印刷済みの用紙またはサブストレートの長さ
- **印刷面積** {nbh} 印刷済みの用紙またはサブストレートの面積

タイルを選択すると、一覧表示されているプレスの詳細を表示できます。

- **リストビュー** {nbh}  をクリックして、リストビューの使用中のプレスの概要にアクセスできます。

リストビューには、すべてのプレス、また他のプレスの名前、モデル、IP アドレス、Fiery Cloud Connector の状態、デバイスの状態などの詳細が表示されます。

**すべてのデバイス** リストから 1 台のプレスを選択できます。**検索** フィールドに名前、モデル、IP アドレス、Fiery Cloud Connector の状態またはデバイスの状態を入力して、プレスを検索できます。

プレスに関する追加情報を表示するには、リスト内のいずれかの行を選択します。


## デバイスの表示名を変更する

デバイスにカスタム表示名を割り当てたり、カスタム名を編集したり、Fiery IQ で元のデバイス名にリセットしたりできます。


### 表示名を追加

- 1 Fiery Dashboard で、リストから目的のデバイスを選択します。
- 2 **表示名の追加** アイコン (+) をクリックします。
- 3 **名前** フィールドに、名前を入力します。  
表示名は半角英数字で最大 30 文字まで使用できます。
- 4 **保存** をクリックします。

### 表示名を編集

- 1 Fiery Dashboard で、リストから目的のデバイスを選択します。
- 2 表示された名前の横にある **表示名の編集** アイコン () をクリックします。
- 3 **名前** フィールドに、新しい名前を入力します。
- 4 **保存** をクリックします。


### 元のデバイス名にリセット

- 1 Fiery Dashboard で、リストから目的のデバイスを選択します。
- 2 表示名の横にある **表示名の編集** アイコン () をクリックします。

- 3 デフォルトにリセット をクリックします。

## Fiery IQ でのアクティブなアプリケーションの変更


Fiery IQ で表示されるアクティブなアプリケーションを変更できます。

- 1 Fiery IQ クラウドアプリケーションでをクリックします。
- 2 目的のアプリケーションを選択して開きます。

## 会社アカウントの切り替え

複数のアカウントに割り当てられている場合は、Fiery IQ で別の会社アカウントに切り替えることができます。

**メモ：**Fiery IQ クラウドアプリケーションは、会社アカウントの切り替え機能をサポートしています。

- 1 Fiery IQ クラウドアプリケーションでをクリックします。
- 2 希望するアカウントの横にある**サイトの起動**をクリックして、Fiery Dashboard を開きます。

# Fiery Admin console

Fiery IQ の管理機能を使用すると、すべての Fiery IQ アプリケーションのユーザーとデバイスを管理できます。

## 会社アカウントに新しいユーザーを追加する

**管理者コンソール**にアクセスし、管理者としてサインオンすることで、会社アカウントに新しいユーザーを追加できます。

1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (🔑) をクリックします。

2 **ユーザー** をクリックします。

3 **新しいユーザーの追加** をクリックします。

4 E メールアドレス、**名**、**姓** を入力します。

**メモ**：名と姓のフィールドには、128 文字までの英数字および特殊文字を使用できます。

5 ユーザーのロールを次のいずれかから選択します。

- **管理者**は、すべてのプレスおよび Fiery IQ システム管理者機能にアクセスできます。
- **オペレーター**は管理者によって割り当てられたプレスにアクセスできますが、Fiery Manage および Fiery IQ の管理者機能にはアクセスできません。
- **サポート**は、1 つ以上の会社アカウントにアクセスし、システム管理者機能にアクセスできます。

管理者またはオペレーターのロールを割り当てられた既存の Fiery IQ ユーザーを複数の会社アカウントに参加できるようにする場合、サポートユーザーとしてのみ招待できます。

サポートのロールのみ割り当てられている既存の Fiery IQ ユーザーは、1 つの会社アカウントに限り、管理者またはオペレーターユーザーとして招待できます。

6 **次へ** をクリックします。

7 プロンプトが表示された場合は、ユーザーグループ、デバイスコレクション、または個々のデバイスを選択し、**完了** をクリックします。

アクティベーション E メールが新しいユーザーに送信されます。

## 会社アカウントに新しいユーザーグループを追加する

会社アカウントに新しいユーザーグループを追加できます。

1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (🔑) をクリックします。

2 **グループ** をクリックします。

- 3 **新しいグループを追加**をクリックします。
- 4 新しいグループの**名前**を入力します。
- 5 (オプション) 新しいグループの説明を入力します。
- 6 **次へ**をクリックします。
- 7 グループに追加するユーザー、デバイスコレクション、個々のデバイスのチェックボックスをオンにし、**次へ**をクリックします。
- 8 **完了**をクリックします。

## グループにユーザーを追加する

Fiery IQ でユーザーをグループに追加できます。

ユーザーグループに追加する前に、ユーザーアカウントを作成する必要があります。

ユーザーを追加するには、ユーザーグループを作成する必要があります。

**メモ：**オペレーターのみをユーザーグループに追加できます。

- 1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (⚙️) をクリックします。
- 2 **ユーザー**をクリックします。
- 3 特定のグループに追加する各ユーザーのチェックボックスをオンにします。
- 4 **グループに追加**をクリックします。
- 5 目的のユーザーグループを選択します。
- 6 **完了**をクリックします。

## ユーザーロールの変更

Fiery IQ で割り当てられたユーザーロールを変更できます。

- 1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (⚙️) をクリックします。
- 2 **ユーザー**をクリックします。
- 3 ユーザーの横にある詳細 (⋮) アイコンをクリックします。
- 4 **ロールの変更**を選択します。
- 5 ユーザーのロールを変更します。

オペレーターロールに変更する場合は、**次へ**をクリックして、ユーザーグループ、デバイスコレクション、ユーザーの個々のデバイスを選択します。

- 6 **保存**をクリックします。

## ユーザーの削除

Fiery IQ からユーザーを削除できます。

- 1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (🔑) をクリックします。
- 2 **ユーザー** をクリックします。
- 3 削除するユーザーの横にある詳細 (⋮) アイコンをクリックします。
- 4 **削除** を選択します。
- 5 **ユーザー削除** ウィンドウで **OK** をクリックします。

## 新しいシフトの追加

Fiery IQ で新しいシフトを作成できます。

- 1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (🔑) をクリックします。
- 2 **シフトマネージャー** をクリックします。
- 3 **新しいシフトを追加** をクリックします。
- 4 **シフト名** フィールドに、希望するシフト名を入力します。
- 5 次のいずれかの方法で、**開始時刻** と **終了時刻** を選択します。
  - ① をクリックして時間を調整します。
  - **開始時刻** または **終了時刻** のフィールドをクリックし、時刻を調整します。
- 6 **休日** で、シフトから削除する日を選択します。
- 7 **保存** をクリックします。  
現在のシフトに既存のシフトと同じ名前またはスケジュールが含まれている場合は、**シフトの競合** ウィンドウが表示されます。
- 8 **完了** をクリックします。

## シフトの削除

Fiery IQ からシフトを削除できます。

- 1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (🔑) をクリックします。
- 2 **シフトマネージャー** をクリックします。
- 3 削除するシフトの横にある詳細 (⋮) アイコンをクリックします。
- 4 **削除** を選択します。



- 5 シフト削除ウィンドウで **OK** をクリックします。

## シフトの編集

Fiery IQ でシフトを編集できます。

- 1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (🔑) をクリックします。
- 2 **シフトマネージャー** をクリックします。
- 3 編集するシフトの横にある詳細 (⋮) アイコンをクリックします。
- 4 **編集** を選択します。
- 5 **シフト名** フィールドに、希望するシフト名を入力します。
- 6 次のいずれかの方法で、**開始時刻**と**終了時刻**を選択します。
  - ⌚ をクリックして時間を調整します。
  - **開始時刻**または**終了時刻**のフィールドをクリックし、時刻を調整します。
- 7 **休日**で、シフトから削除する日を選択します。
- 8 **保存** をクリックします。  
現在のシフトに既存のシフトと同じ名前またはスケジュールが含まれている場合は、**シフトの競合**ウィンドウが開きます。
- 9 **完了** をクリックします。

## デバイスの詳細を表示する

トナー情報、プリンター使用状況、ジョブの詳細など、デバイスの詳細を表示できます。

- 1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (🔑) をクリックします。
- 2 **デバイス** をクリックして、登録済みデバイスのリストを表示します。
- 3 リストからデバイスを選択して、詳細を表示します。

## デバイスのトラッキング停止

Fiery IQ のアクティブなデバイスのトラッキングを停止できます。

- 1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (🔑) をクリックします。
- 2 **デバイス** をクリックします。
- 3 **アクティブ** タブを選択します。
- 4 対象のデバイスの横にある詳細 (⋮) アイコンをクリックします。

- 5 **追跡の停止**を選択します。
- 6 **OK**をクリックします。

## デバイスのトラッキング開始

Fiery IQ でアクティブではないデバイスを追跡できます。

- 1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (🔑) をクリックします。
- 2 **デバイス**をクリックします。
- 3 **非アクティブ**タブを選択します。
- 4 対象のデバイスの横にある詳細 (⋮) アイコンをクリックします。
- 5 **追跡の開始**を選択します。
- 6 **OK**をクリックします。

## デバイスの削除

Fiery IQ からアクティブではないデバイスを永久に削除できます。

- 1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (🔑) をクリックします。
- 2 **デバイス**をクリックします。
- 3 **非アクティブ**タブを選択します。
- 4 取り外すデバイスの横にある詳細 (⋮) アイコンをクリックします。
- 5 **削除**を選択します。

**メモ:** デバイスを永久に削除した後に再度そのデバイスを追加するには、Fiery IQ サポートチームに連絡してください。

- 6 **はい**をクリックします。
- 7 **OK**をクリックします。

## デバイスコレクションの作成

デバイスのコレクションを指定して、Fiery IQ での管理を簡略化できます。

- 1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (🔑) をクリックします。
- 2 **デバイスコレクション**をクリックします。
- 3 **新しいデバイスコレクション**をクリックします。
- 4 名前と説明を入力します。

- 5 **次へ**をクリックします。
- 6 コレクションに追加する各デバイスのチェックボックスをオンにします。  
**メモ：**デバイスリストをフィルタリングするデバイスモデルを選択します。
- 7 **次へ**をクリックします。
- 8 **完了**をクリックします。

## 会社設定の指定

システム管理者は Fiery IQ で会社の追跡設定を指定できます。

- 1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (🔑) をクリックします。
- 2 **会社設定**をクリックします。
- 3 次のオプションのチェックボックスを選択またはオフにして、設定を指定します。
  - **ジョブ名を追跡**
  - **ユーザー名を追跡**
  - **サムネイルを表示**

**メモ：**デフォルトではすべての設定が選択されています。システム管理者が設定チェックボックスをオフにすると、設定はクラウドに送信されません。

- 4 **保存**をクリックします。

## プレスの Fiery IQ アプリケーションライセンス

Fiery Manage、Fiery ColorGuard、Fiery Insight は、プレスごとにライセンスが必要です。

産業用プレスでは、Fiery Manage と Fiery ColorGuard の 30 日間の無料トライアルを利用できます。

大型プレスでは、Fiery Insight の 60 日間の無料トライアルを利用できます。

トライアル期間中はトライアルライセンスを使用して、サポートされているすべてのプレスに接続することができます。トライアル期間が終了した後、Fiery Manage、Fiery ColorGuard または Fiery Insight にアクセスするには、ライセンスアクティベーションコード (LAC) を使用して各プレスにライセンスを付与する必要があります。

**メモ：**産業用プレスの Fiery Insight ライセンスは無料で、ライセンスアクティベーションコード (LAC) は必要ありません。

**メモ：**Fiery IQ アプリケーションライセンスまたはライセンス更新を購入するには、Fiery サプライヤーにお問い合わせください。

Fiery IQ アプリケーションのトライアルライセンスをアクティベートするには、次のいずれかの操作を行います。

- **管理者コンソール** (🔑) をクリックし、**ライセンスマネージャー** をクリックしてから、適切なアプリケーションの **30 日間トライアルを開始** または **60 日間トライアルを開始** をクリックして、トライアルライセンスをアクティベートします。
- Fiery Dashboard から Fiery Manage、Fiery ColorGuard または Fiery Insight のアプリケーションに移動します。表示されたメッセージの **30 日間トライアルを開始** または **60 日間トライアルを開始** をクリックします。
- **Dashboard** で希望する大型プレスを選択します。表示されたメッセージウィンドウの **30 日間トライアルを開始** または **60 日間トライアルを開始** をクリックします。
- **Dashboard** で希望する産業用プレスを選択します。表示されたメッセージウィンドウの **30 日間トライアルを開始** をクリックします。

## ライセンスの表示

Fiery ライセンスマネージャーで、Fiery IQ アプリケーションライセンスを表示できます。

- 1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (🔑) をクリックします。
- 2 **ライセンスマネージャー** をクリックします。
- 3 次のいずれかの操作で、アクティベートされた Fiery IQ ライセンスを表示できます。
  - 各アプリケーションの利用可能なライセンスと割り当てられたライセンスをウィジェットで表示します。
  - 任意のアプリケーションウィジェットの**管理**をクリックして、選択したアプリケーションのライセンスデバイスを表示します。

## 新規ライセンスを追加する

使用中のプレスに Fiery Manage、Fiery ColorGuard または Fiery Insight のライセンスを追加できます。

- 1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (🔑) をクリックします。
- 2 **ライセンスマネージャー** をクリックします。
- 3 **ライセンスのアクティベート** をクリックします。
- 4 **ライセンスコードを入力** ウィンドウで、テキストフィールドにライセンスアクティベーションコード (LAC) を入力し、**続行** をクリックします。
- 5 **完了** をクリックします。

## ライセンスを割り当て

使用中のプレスにライセンスを割り当てることができます。

- 1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (🔑) をクリックします。
- 2 **ライセンスマネージャー** をクリックします。
- 3 ライセンスを割り当てるアプリケーションウィジェットの**管理**をクリックします。
- 4 **使用可能なライセンスタブ**を選択し、使用可能なライセンスの横にある⚙️をクリックします。
- 5 **ライセンスをデバイスに割り当て**を選択します。
- 6 使用可能なライセンスを割り当てるデバイス名の横にあるチェックボックスを選択します。
- 7 **ライセンスを割り当て**をクリックします  
ライセンスの有効期限日が**有効期限列**に表示されます。

## ライセンスの削除

プレスに割り当てられた Fiery IQ アプリケーションライセンスは**ライセンスマネージャー**で削除できます。

- 1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (🔑) をクリックします。
- 2 **ライセンスマネージャー** をクリックします。
- 3 ライセンスを削除するアプリケーションウィジェットの **管理** をクリックします。
- 4 **割り当て済みライセンスタブ**を選択し、割り当てられたライセンスの横にある⚙️をクリックします。
- 5 **このライセンスを開放**を選択します。
- 6 **確認** をクリックします。

## SFTP アカウントの構成

既存の SSH ファイル転送プロトコル (SFTP) アカウントがある場合は、そのアカウントを Fiery IQ に追加して、さまざまなアプリケーションで使用できます。

### 設定用の SFTP アカウントを追加する

既存の SFTP アカウントを Fiery IQ に追加できます。最大 10 個の SFTP アカウントを追加できます。

- 1 Fiery IQ で、**管理コンソール** (🔑) をクリックします。
- 2 **SFTP 設定** をクリックします。
- 3 **SFTP の新規追加** をクリックします。

- 4 **名前**フィールドに、SFTP 設定で使用する名前を入力します。  
この名前には、半角英数字で最大 100 文字まで使用できます。
- 5 LDAP サーバーの IP アドレスを**サーバー**フィールドに入力します。
- 6 **ポート**フィールドにポート番号を入力します。  
ポート番号はデフォルトで 22 と入力されています。
- 7 **ユーザー名**フィールドに SFTP アカウントの電子メールまたはユーザー ID を入力します。  
名の前には、半角英数字で最大 100 文字まで使用できます。
- 8 SFTP アカウントのパスワードを**パスワード**フィールドに入力します。  
パスワードには、半角英数字で最大 100 文字まで使用できます。
- 9 このアカウントをデフォルトとして設定するには、**デフォルトとして設定**トグルボタンを有効にします。  
**メモ**：デフォルトとして設定できるアカウントは 1 つだけです。
- 10 **接続をテスト**をクリックします。  
保存オプションは、[ステップ 4](#) (22 ページ)、[ステップ 5](#) (22 ページ)、[ステップ 6](#) (22 ページ)、[ステップ 7](#) (22 ページ)、および[ステップ 8](#) (22 ページ) で入力した詳細が有効な場合にのみ有効になります。
- 11 **保存**をクリックします。

## 設定用の SFTP アカウントを編集する

Fiery IQ に追加した SFTP アカウントを編集できます。

- 1 Fiery IQ で、**管理者コンソール** (🔑) をクリックします。
- 2 **SFTP 設定**をクリックします。
- 3 編集するアイコンの横にある詳細 (⋮) アイコンをクリックします。
- 4 **編集**を選択します。
- 5 **名前**フィールドに、SFTP 設定で使用する名前を入力します。  
この名前には、半角英数字で最大 100 文字まで使用できます。
- 6 LDAP サーバーの IP アドレスを**サーバー**フィールドに入力します。
- 7 **ポート**フィールドにポート番号を入力します。  
ポート番号はデフォルトで 22 と入力されています。
- 8 **ユーザー名**フィールドに SFTP アカウントの電子メールまたはユーザー ID を入力します。  
この名前には、半角英数字で最大 100 文字まで使用できます。
- 9 SFTP アカウントのパスワードを**パスワード**フィールドに入力します。  
パスワードには、半角英数字で最大 100 文字まで使用できます。

**10** このアカウントをデフォルトとして設定するには、**デフォルトとして設定**トグルボタンを有効にします。

**メモ：**デフォルトとして設定できるアカウントは1つだけです。

**11** **接続をテスト**をクリックします。

保存オプションは、テストが成功し、入力された詳細が有効な場合にのみ有効になります。

**12** **保存**をクリックします。

## 設定用の SFTP アカウントを削除する

Fiery IQ に追加した SFTP アカウントを削除できます。

- 1** Fiery IQ で、**管理者コンソール** (🔑) をクリックします。
- 2** **SFTP 設定** をクリックします。
- 3** 削除するアイコンの横にある詳細 (⋮) アイコンをクリックします。
- 4** **削除** を選択します。
- 5** **設定を削除** ウィンドウで、**はい、削除します** をクリックします。

# EFI Go

プレスの状況や送信されたジョブを確認したり、履歴をどこからでも閲覧したりできます。

モバイルアプリケーション EFI Go を使用すると、次のことが可能になります。

- 各プレスのステータスの表示
- プロダクションスケジュールの監視とトラッキング
- プロダクションブロックイベントの通知の設定

**メモ：**EFI Go は、Google Play または Apple App Store からダウンロードできます。

## サポートされるモバイルデバイス

次のモバイルデバイスでサポートされている EFI Go モバイルアプリケーション：

- Android 5.0 以降
- iOS 9.0 以降

**メモ：**EFI Go は、iPhone、iPad、iPod touch で使用できます。

## サポートプリントデバイス

EFI Go は、Fiery システムソフトウェア FS200/200 Pro 以降を実行する Fiery サーバーに接続された産業用プレス および大型プレスに対応しています。

現在サポートしている産業用プレスおよび大型プレスのリストは、<https://resources.fiery.com/iq/supported-printers> を参照してください。

## デバイス情報の表示

Fiery IQ に接続されているデバイスに関する詳細情報を表示できます。

- 1 EFI Go アプリケーションにログオンします。
- 2 デバイスリストから、次のいずれかのリストをタップします。
  - すべてのデバイス
  - 印刷中
  - エラー

**すべてのデバイス**がデフォルトで表示されます。



- 3 希望のデバイスをタップします。
- 4 次のいずれかをタップすると、選択したデバイスのジョブの状況が表示されます。
  - **待機** - 待機ジョブのリストを表示します。
  - **処理キュー** - 処理済みジョブのリストを表示します。
  - **印刷キュー** - 次に印刷するジョブのリストを表示します。
  - **印刷済み** - 印刷済みジョブのリストを表示します。
  - **印刷済みジョブ** - 印刷済みジョブのリストを表示します。
  - **ワークスペース** - ワークスペースにアップロードしたジョブのリストを表示します。

## デバイスログの表示

EFI Go でデバイスログの詳細を表示できます。

- 1 EFI Go モバイルアプリケーションで、**デバイスリスト**に移動します。  
**すべてのデバイス**がデフォルトで表示されます。
- 2 希望のデバイスの名前をタップします。
- 3 **デバイスログ**をタップします。
- 4 特定の情報については、次のいずれかのリストをタップします。
  - **アクティブ**
  - **すべて**
  - **エラー**
  - **警告**
  - **状況**

## デバイスの状態の表示

EFI Go でデバイスの状態の詳細情報を表示できます。

- 1 EFI Go アプリケーションで、**デバイスリスト**から希望のデバイスをタップします。  
**すべてのデバイス**がデフォルトで表示されます。
- 2 **デバイスの状態**をタップします。
- 3 デバイスの状態レポートの期間を指定します。

## ジョブを検索する

EFI Go モバイルアプリケーションを使用して、Fiery IQ に接続しているプレスでジョブを検索できます。

- 1 接続されているすべてのプレスの特定ジョブを検索するには、検索フィールドにジョブ名を入力して、キーパッドの虫メガネのアイコン (Q) をタップします。

対応するプレスで指定されたジョブの状況が表示されます。

- 2 大型プレスのジョブの詳細を表示するには、リストから目的のジョブをタップします。  
左上角にある矢印アイコンをタップすると、現在の検索に戻ることができます。

- 3 デバイスリストに戻るには、左上角の矢印アイコン (←) をタップします。

検索を実行した後、検索フィールドをタップしてから検索フィールドの **X** をタップすると、現在の検索条件をクリアできます。これにより、違うワードで検索できます。

## 通知の表示

EFI Go を使用して、モバイルデバイスからプロダクションブロックイベントの通知を表示できます。

- 1 Fiery Notify クラウドアプリケーションで通知を設定します。

詳細は、[プロダクションブロックイベントに関する警告を有効にする](#) (81 ページ) を参照してください。

- 2 プロダクションブロックイベントが発生した場合は、次のいずれかの方法を選択して、モバイルデバイスで通知を表示します。

- EFI Go モバイルデバイスでプッシュ通知をタップします。
- EFI Go モバイルアプリケーションで、**通知**をタップします。

## My Inks

**My Inks** タブではインクの在庫表示と、インクボトルのバーコードをスキャンして新規インクを追加できます。

**My Inks** タブでは、次のことができます。

- インクボトルのバーコードをスキャンする、もしくはインクの詳細を手動で入力して、新規インクを追加します。
- インクの在庫を表示します。
- インクの詳細を編集します。
- 在庫からインクを削除します。
- インク順序のおすすめ設定を変更します。

## インクの検索

**My Inks** タブでインクを検索できます。

- 1 EFI Go モバイルアプリケーションにログオンします。
- 2 **My Inks** をタップします。
- 3 右上角にある虫メガネのアイコン (Q) をタップします。
- 4 検索フィールドにインク名または部品番号を入力し、キーパッドの**検索**をタップします。  
指定したインク名または部品番号に関連するインクが表示されます。
- 5 インクの詳細を表示または編集するには、リストから希望するインクをタップします。
- 6 **My Inks** タブに戻るには、左上角の矢印アイコン (←) をタップします。

## 新規インクを追加

**My Inks** タブで新規インクを追加できます。

- 1 EFI Go モバイルアプリケーションで、**My Inks** をタップします。
- 2 プラス記号アイコン (+) をタップします。
- 3 **Add New Ink** ウィンドウで、次のいずれかを行います。
  - **Scan** をタップし、インクボトルのバーコードをスキャンします。
  - **Enter ink details** をタップして、次のフィールドにインクの詳細を手動で入力します。
    - **部品番号** {nbh} 新規インクボトルの部品番号
    - **部品名** {nbh} 新規インクの名前
    - **ボトル当たりのリットル/kg** {nbh} ボトル 1 本あたりのインク量
    - **使用可能なボトル** {nbh} 現在ストックされている使用可能な新規インクボトルの合計数量
    - **予備保管** {nbh} ストックに保管する新規インクボトルの最小数量
    - **このインクを使用してプリンターモジュールを選択 -**
      - 1 **Select** をタップします。
      - 2 新規インクを使用するプレスモデルの横にあるチェックボックスをタップします。
      - 3 **Select** をタップします。
- 4 **Save** をタップします。  
新規インクがインク在庫に追加されます。
- 5 別のインクを追加する場合は、**Add another** をタップしてステップ 3 (27 ページ) と 4 (27 ページ) を繰り返します。
- 6 **I am done** をタップします。

## インクの編集

インクタブでインクを編集できます。

- 1 EFI Go モバイルアプリケーションで、**My Inks** をタップします。
- 2 在庫リストから編集するインクをタップします。
- 3 必要に応じて、次の詳細情報を編集します。
  - **部品番号** - インクボトルの部品番号
  - **部品名** - インクの名前
  - **使用可能なボトル** - 現在ストックされている使用可能なインクボトルの合計数量
  - **予備保管** - ストックに保管するインクボトルの最小数量
- 4 完了アイコン (✓) をタップして、変更を保存します。

## インクの削除

**My Inks** タブでインクを削除できます。

- 1 EFI Go モバイルアプリケーションで、**My Inks** をタップします。
- 2 在庫リストから削除するインクをタップします。
- 3 削除アイコン (🗑️) をタップします。
- 4 **はい** をタップします。  
選択したインクがインクの在庫リストから削除されます。

## インク順序のおすすめ設定を変更する

**My Inks** タブでインク順序のおすすめ設定を変更できます。

- 1 EFI Go モバイルアプリケーションで、**My Inks** をタップします。
- 2 歯車アイコン (⚙️) をタップして設定を変更します。
- 3 インク順序に関するおすすめを受信するには、インクサプライヤーのターンアラウンドタイムと E メールアドレスをアップデートします。
- 4 完了アイコン (✓) をタップして、変更を保存します。

## EFI Go で Fiery IQ からログオフ

EFI Go モバイルアプリケーションで、モバイルデバイスの Fiery IQ からログオフします。

- 1 EFI Go モバイルアプリケーションで、**設定**をタップします。
- 2 **ログアウト**をタップします。

# Fiery Insight

正確なプロダクショントラッキングにより、プレスの稼働率と利益を最大化します。

Fiery Insight アプリケーションを使用すると、次のことが可能になります。

- 経時的なトレンドをトラッキングできます。
- 1つのデバイスのプロダクションデータまたは複数のデバイスの集約データを表示します。
- 表示するデータを選択し、どのように表示するかを選択して、ダッシュボードをカスタマイズします。
- 使用状況をトラッキングし、生産性を比較します。
- 比較する個々のプレスまたはプレス群のプロダクション統計を表に並べて表示します。

Fiery Insight には大型プレス用のライセンスが必要です。EFI ワイド形式と EFI スーパーワイド形式の各プレスには別々のライセンスが必要です。Fiery Insight ライセンスは、Fiery Insight アプリケーション用に発行された指定プレス形式でのみ使用できます。

**メモ：**産業用プレスの Fiery Insight ライセンスは無料で、ライセンスアクティベーションコード（LAC）は必要ありません。

**メモ：**Fiery Insight アプリケーションライセンスまたはライセンス更新を購入するには、Fiery サプライヤーにお問い合わせください。

**メモ：**プレスに Fiery Insight ライセンスを割り当てるには、[プレスの Fiery IQ アプリケーションライセンス](#)（19 ページ）を参照してください。



## 対応プリントデバイス

Fiery Insight は、Fiery システムソフトウェア FS200/200 Pro 以降を実行する Fiery サーバーに接続された産業用プレス および大型プレスに対応しています。

現在サポートしている産業用プレスおよび大型プレスのリストは、<https://resources.fiery.com/iq/supported-printers> を参照してください。

## ジョブログのダウンロード



ジョブログの対象となるプレスと日付を指定できます。

- 1 **Insight** アプリケーションで、 をクリックします。
- 2 **ジョブログ**  アイコンをクリックします。
- 3 日付の範囲を選択し、**適用** をクリックします。

- 4 ジョブログに含めるコレクションと個々のデバイスのチェックボックスをオンにし、**適用**をクリックします。
- 5 ジョブログに含めるシフトの切り替えボタンをクリックし、**適用**をクリックします。
- 6 **列を設定**をクリックします。  
ジョブログ列の詳細と説明については、[ジョブログ列](#) (31 ページ) を参照してください。
- 7 ジョブログに含める属性を選択し、**列に適用**をクリックします。
- 8 **ジョブログをダウンロード**をクリックして、ジョブログを.csv ファイルでダウンロードします。  
**メモ：**選択した属性列のみが.csv ファイルにエクスポートされます。

## ジョブログ列の設定

ジョブログに表示される列はカスタマイズできます。

- 1 **Insight** アプリケーションで、 をクリックします。
- 2 **ジョブログアイコン** () をクリックします。
- 3 **列を設定**をクリックします。
- 4 希望するジョブ情報を選択します。  
ジョブログ列の詳細と説明については、[ジョブログ列](#) (31 ページ) を参照してください。  
**デフォルト復元**をクリックすると、既定のジョブ情報設定を表示できます。
- 5 **列を適用**をクリックします。

## ジョブログ列

プレスまたは印刷ジョブについてジョブログ列に表示する情報を選択できます。

ジョブログに表示するように選択できる情報は、プレスによって異なります。一部のジョブログ列は、プレスによっては値が表示されない場合があります。詳細については、使用しているプレス仕様を参照するか、Fiery のサプライヤーにお問い合わせください。

以下はジョブログで使用可能なカテゴリの一覧です。

列のカテゴリ	列名	列の説明	サポートされているプレスタイプ
ジョブ情報	部数	要求した印刷用ジョブの総部数	産業用 大型
	サイズ	印刷済みジョブのサイズ (バイト単位)	産業用

列のカテゴリ	列名	列の説明	サポートされているプレスタイプ
	ジョブタイトル	印刷ジョブ名	産業用 大型
	名前	プレス名	産業用 大型
	ID	印刷ジョブの識別番号	産業用 大型
	印刷状況	Fiery サーバーでの印刷ジョブの特定の印刷状態（印刷済み、キャンセルなど）	産業用
	仮想プリンター	定義済みの設定で作成される印刷キューの名前	産業用
	ユーザー	現ユーザーの名前	産業用 大型
	状況	印刷ジョブの状況（印刷済み、完了など）	産業用 大型
	RIP 秒数	印刷ジョブの処理に要した時間  ラスター画像処理（RIP）では、ジョブをラスターファイルまたはイメージに処理して、印刷できるようにします。	産業用
	インタープリター	印刷ジョブのファイル形式  インタープリターは任意のファイルを PostScript（PS）、Adobe PCL、Adobe PDF の形式など、印刷可能なジョブ形式に変換します。	産業用
	ジョブの種類	印刷ジョブの種類	大型
	印刷済みの長さ	印刷ジョブの実際の印刷長さ  表示される単位は、アカウントの環境設定に応じて、フィートまたはメートルで表示できます。	大型
	印刷済みの幅	印刷ジョブの実際の印刷幅  表示される単位は、アカウントの環境設定に応じて、フィートまたはメートルで表示できます。	大型
	ジョブ状況	ジョブの状況（印刷済み、キャンセル済みなど）	大型
	水平方向の複製	水平方向に印刷する部数	大型



列のカテゴリ	列名	列の説明	サポートされているプレスタイプ
	水平方向の間隔	各複製間の水平方向の間隔	大型
	水平方向の間隔（日本式）	水平方向の間隔の測定に使用される単位	大型
	垂直方向の複製	垂直方向に印刷する部数	大型
	垂直方向の間隔	各コピー間の垂直方向の間隔	大型
	垂直方向の間隔（日本式）	垂直方向の間隔の測定に使用される単位	大型
用紙	用紙カタログ名	サブストレートカタログの名前	大型
	メディア使用状況	産業用プレスの場合、単一用紙または混合用紙の合計用紙使用量の値。 大型プレスの場合、印刷ジョブの印刷された表面積。 単位はアカウントの環境設定に応じて、平方フィートまたは平方メートルで表示できます。	産業用 大型
	用紙範囲	産業用プレスの場合、単一用紙または混合用紙の用紙カバレッジの値。 大型プレスの場合、印刷ジョブの印刷された表面積。 表示される単位は常に平方メートルです。	産業用 大型
	用紙名	ジョブに使用した用紙名 大型の場合、サブストレートカタログエントリが選択されていないとデフォルトの用紙名が表示されます。	産業用 大型
	用紙サイズ	印刷に使用する用紙のサイズ	産業用
	用紙廃棄	印刷で使用されなかった用紙	産業用 大型
	用紙重量	グラム単位での用紙重量	産業用
	用紙種類の混合	使用されるさまざまな用紙の種類	産業用
	用紙の種類	印刷ジョブに使用する用紙の種類	大型
	用紙長さ	印刷ジョブに使用する用紙の長さ 表示される単位は、アカウントの環境設定に応じて、フィートまたはメートルで表示できます。	大型

列のカテゴリ	列名	列の説明	サポートされているプレスタイプ
	用紙幅	印刷ジョブに使用する用紙の幅  表示される単位は、アカウントの環境設定に応じて、フィートまたはメートルで表示できます。	大型
	ロール紙/シート紙	印刷ジョブに使用する用紙設定の種類（ロール紙またはシート紙）	大型
レイアウト	方向	印刷ジョブの方向（縦または横）	産業用
	両面	おもてと裏の印刷（両面印刷）	産業用
キャリッジ	キャリッジ速度	ジョブ印刷時のプレスの改行スピード	大型
	硬化	印刷済みジョブの仕上げ後処理で設定された硬化プロパティセット	大型
	ダブルストライク	印刷済みジョブのインク彩度を濃くするための2回目のインク塗布	大型
	キャリッジリフト間隔	ジョブの印刷に使用されたキャリッジリフト間隔	大型
	ストライク	ジョブに使用されるストライクまたはダブルストライク	大型
カラー	カラーモード	印刷ジョブに使用するカラーモード	産業用 大型
	すべてのインク	印刷ジョブで使用されるインク名とインク消費量  ジョブログに追加すると、各インクの列が追加され、個々のインク消費量の値が表示されます。	産業用 大型
	グレースケール	印刷ジョブのグレースケールの有無	大型
	ホワイトモード	印刷ジョブのホワイトモードの有無	大型
	光沢モード	印刷ジョブの光沢モードの有無	大型
インク	インク使用量	印刷ジョブで使用されたすべてのインクの合計インク消費量	産業用 大型
	インク使用量 (kg)	Cretaprint プリンターのすべてのインクの合計インク消費量	大型
	インクコスト	使用したインクの総コスト  これは、Fiery IQ のデバイスドリルダウンページにユーザーが入力した情報に基づいて計算されます。	産業用 大型
仕上げ	完了した仕上げ	ジョブ印刷後、プレスに取り付けられた仕上げ装置を使用して実行される仕上げ機能	産業用

列のカテゴリ	列名	列の説明	サポートされているプレスタイプ
	仕上げの概要	仕上げ作業の概要	産業用
	折り	折り仕上げの種類（使用した場合）	産業用
	無線とじ	印刷ジョブの無線とじ仕上げに対応	産業用
	パンチ	印刷ジョブのパンチ仕上げに対応	産業用
	ステープル	ステープル仕上げの種類（使用した場合）	産業用
画像	光沢モード	印刷ジョブに使用する光沢モード	大型
	スムージング	印刷ジョブに使用するスムージング	大型
	X 解像度	印刷ジョブの水平方向の解像度	大型
	X 単位	X 解像度の測定に使用する単位	大型
	Y 解像度	印刷ジョブの垂直方向の解像度	大型
	Y 単位	Y 解像度の測定に使用する単位	大型
	X マージン	印刷ジョブの水平方向のマージン	大型
	Y マージン	印刷ジョブの垂直方向のマージン	大型
	X ピクセル	水平方向のピクセル数	大型
	Y ピクセル	垂直方向のピクセル数	大型
	グレーのビット数	印刷ジョブで使用可能なグレービット数	大型
	イメージの長さ	印刷したイメージの長さ 表示される単位は、アカウントの環境設定に応じて、フィートまたはメートルで表示できます。	大型
	イメージの幅	印刷したイメージの幅 表示される単位は、アカウントの環境設定に応じて、フィートまたはメートルで表示できます。	大型
記録日時	時刻	印刷が終了した日時	産業用 大型
	最初のページの印刷日時	最初のページが印刷された時刻と日付	産業用
	ジョブ作成日時	印刷ジョブが作成された時刻と日付	産業用


列のカテゴリ	列名	列の説明	サポートされているプレスタイプ
	作成ジョブ作成日時	印刷ジョブが作成された時刻と日付	産業用
	印刷開始日時	印刷が開始した日時	大型
	印刷終了日時	印刷が終了した日時	大型
	印刷時間	印刷の合計所要時間（秒）	産業用 大型
タイムスタンプ	タイムスタンプ - 印刷終了	印刷が終了した日時	産業用 大型
	タイムスタンプ - RIP 終了	ジョブが処理を終了した日時	産業用
	タイムスタンプ - スプール終了	ジョブがスプールを終了した日時	産業用
	タイムスタンプ - 印刷中	印刷が開始した日時	産業用 大型
	タイムスタンプ - RIP 中	ジョブが処理を開始した日時	産業用
	タイムスタンプ - スプール中	ジョブがスプールを開始した日時	産業用
	タイムスタンプ - 印刷待機中	印刷のためにジョブがキューに追加された日時	産業用
	タイムスタンプ - RIP 待機中	処理のためにジョブがキューに追加された日時	産業用
デバイス	デバイス	プレス名	産業用 大型
	モデル	プレスのモデル名	産業用 大型
	サーバー名	Fiery サーバーの名前	産業用
	ソースアプリケーション	印刷ジョブが送信されたクライアントアプリケーションの名前	産業用
カウンター	印刷済み白黒ページの合計数	ジョブの印刷済み白黒ページ数	産業用

列のカテゴリ	列名	列の説明	サポートされているプレスタイプ
	印刷済みカラーページの合計数	ジョブの印刷済みカラーページ数	産業用
	印刷済みシートの合計	ジョブの印刷済みシート数	産業用 大型
	印刷済みブランクページの合計数	ジョブの印刷済みブランクページ数	産業用
	白黒ページ	白黒ページ数	産業用
	カラープリンターでの白黒ページ	カラープレスで印刷された白黒ページ数	産業用
	印刷済みページ数	ジョブの印刷済みページ数	産業用 大型
	印刷済みジョブの部数	ジョブの印刷済み部数	産業用 大型
	白黒ページ数	白黒ページ数	産業用
	カラーページ数	カラーページ数	産業用
ランプ	前方ランプ	印刷ジョブでの前方ランプの使用	大型
	後方ランプ	印刷ジョブでの後方ランプの使用	大型
	ランプモード	印刷ジョブに使用するランプモード	大型
吸着	用紙おもて面バキューム-アクティブ	用紙のおもて面でアクティブ化された吸着ゾーン	大型
	用紙裏面バキューム値	用紙裏面のアクティブ化された吸着ゾーンの値	大型
	用紙おもて面バキューム値	用紙おもて面のアクティブ化された吸着ゾーンの値	大型
	印刷に使用された用紙裏面バキューム値	用紙裏面のアクティブ化された吸着ゾーンの印刷に使用された値	大型
	印刷に使用された用紙おもて面バキューム値	用紙おもて面のアクティブ化された吸着ゾーンの印刷に使用された値	大型
その他	印刷面積	ジョブの印刷済み領域  単位はアカウントの環境設定に応じて、平方フィートまたは平方メートルで表示できます。	産業用 大型

列のカテゴリ	列名	列の説明	サポートされているプレスタイプ
	使用面積	ジョブの印刷済み領域 単位はアカウントの環境設定に応じて、平方フィートまたは平方メートルで表示できます。	産業用 大型
	インターレースモード	印刷ジョブに使用するインターレースモード	大型
	シャッターモード	印刷ジョブに使用するシャッターモード	大型
	廃棄面積	ジョブの印刷面積と印刷済み表面積の差	大型
	印刷モード	印刷ジョブに使用する印刷モード	大型
	マルチレイヤージョブ	マルチレイヤージョブの使用	大型
	UV セグメント	印刷ジョブで使用される特定の紫外線（UV）セグメント	大型
	UV セグメント合計	使用可能な UV セグメントの総数	大型
	パス数	印刷対象ジョブのパス数	大型
	速度モード	印刷ジョブに使用する速度モード	大型
	方向モード	印刷の方向（単方向または双方向）	大型
	注釈 1	印刷ジョブの作成時に追加された最初のジョブ注釈メモ	産業用
	注釈 2	印刷ジョブの作成時に追加された 2 番目のジョブ注釈メモ	産業用
	注意事項	オペレーターへの注意事項	産業用


## プリンター利用率の表示

使用中のプレスの状態に関する詳細情報を表示できます。

- 1 **Insight** アプリケーションで、 をクリックします。
- 2 **プリンターの使用状況** ウィジェットに移動し、**使用状況の詳細** をクリックします。
- 3 **使用状況の詳細** ウィンドウで、矢印アイコンをクリックしてプレスの状態に関する追加情報を表示します。

## プレスを比較する


カスタマイズして、使用中のプレスを並べて比較できます。

- 1 **Insight** アプリケーションで、 をクリックします。

- 2 比較する日付範囲を選択し、**適用**をクリックします。
  - 3 **カテゴリー**をクリックし、比較したいカテゴリのチェックボックスをオンにします。
  - 4 **適用**をクリックします。
  - 5 **列の追加**をクリックし、比較するコレクションや個々のプレスのチェックボックスをオンにします。
  - 6 **適用**をクリックします。
- プレス名の下にある**シフト**切り替えボタンをクリックすると、各シフトのカテゴリの比較を表示できます。



## グラフの表示を変更する

トレンドページに表示されるグラフの種類を変更できます。

- 1 **Insight** アプリケーションで、をクリックします。
- 2 特定の間隔のグラフを表示するには、**表示間隔**をクリックし、希望する間隔を選択します。
- 3 次のいずれかのトレンドグラフに移動します。


- サブストレートの使用量
- インク使用量
- 印刷済みジョブ
- 印刷回数
- メディア使用状況

**メモ：**トレンドページに表示されるウィジェットは、使用中のプレスの種類と設定によって異なります。使用中のプレスによって、一部のウィジェットでは値が表示されない場合があります。

- 4 次のいずれかをクリックします。
    - -トレンドグラフを棒グラフとして表示
    - -トレンドグラフを折れ線グラフとして表示
  - 5 トレンドグラフで使用可能な場合は、上矢印と下矢印をクリックして、追加の値を表示します。
- 必要に応じて各値の上にカーソルを置くと、グラフ上の情報がハイライトされます。各値を表示または非表示にするには、値をクリックします。

## 選択したプレスの変更

選択したプレスを変更して、**トレンド**または**ジョブログ**のページに詳細を表示できます。

- 1 **Insight** アプリケーションで、をクリックします。

**2 すべてのデバイス**をクリックし、次のリストから選択します。

- **プリンターコレクション**タブで、表示するプレスコレクションを選択します。
- **プリンター**タブで、表示する個々のプレスを選択します。プレス名を検索することもできます。

**メモ：**任意のプレスが選択されていない場合は、**デバイスを選択**と表示されます。


**3 適用**をクリックします。

データが利用できない場合は、ウィジェットに**利用可能なデータがありません**と表示されます。

## シフト変更

**トレンド**または**ジョブログ**ページに表示されているシフトを変更できます。

**すべてのシフト**ボタンは、管理機能の**シフトマネージャ**にシフトが追加されたときに表示されます。

**1 Insight** アプリケーションで、をクリックします。

**2 すべてのシフト**をクリックします。

**3** ダッシュボードからシフトを削除するには、シフト名の横にある切り替えボタンをクリックします。

**4 適用**をクリックします。



# 産業用プレス向け Fiery IQ

産業用プレスは、梱包、テキスタイル、商業印刷などの産業用途に使用されるワイド形式またはスーパーワイド形式のインクジェットプレスです。

産業用プレス向け Fiery IQ は、次のタスクを実行できるクラウドアプリケーションのスイートパッケージです。

- プレスの管理
- 一貫性のある正確なカラーの維持
- スムーズな印刷プロダクション稼働の維持
- 警告のスケジュール

産業用プレス対応の Fiery IQ は、次のアプリケーションをサポートしています。

- [Fiery Cloud Connector](#) (41 ページ)
- [Fiery ColorGuard](#) (43 ページ)
- [Fiery Manage](#) (78 ページ)
- [Fiery Notify](#) (80 ページ)

現在サポートしている産業用プレスのリストは、<https://resources.fiery.com/iq/supported-printers> を参照してください。

## Fiery Cloud Connector

Fiery Cloud Connector がプレスを Fiery IQ サービスに接続します。

Fiery IQ は、印刷サービスプロバイダーの豊富なクラウドアプリケーションを含むクラウドプラットフォームです。

Fiery Cloud Connector では、プレスおよび Fiery IQ サービスや Web アプリケーションへの接続の管理、登録、トラッキングが行えます。

## サポートプリントデバイス

Fiery Cloud Connector は、Fiery システムソフトウェア FS200/200 Pro 以降が稼働している Fiery サーバーに接続されている産業用プレスをサポートしています。

現在サポートしている産業用プレスのリストは、<https://resources.fiery.com/iq/supported-printers> を参照してください。

## Fiery サーバーに Fiery Cloud Connector をインストール

Fiery Command WorkStation のバージョンに応じて、インターネットに接続されている Fiery サーバーに Fiery Cloud Connector をインストールできます。

### Fiery Command WorkStation v7.0 以降

- 1 Fiery Command WorkStation を起動します。
- 2 **サーバー**をクリックします。
- 3 **Fiery IQ** をクリックします。
- 4 **Fiery IQ マネージャー**ウィンドウで、Fiery サーバーの横にある切り替えボタンをオンにして Fiery IQ に接続します。
- 5 プロンプトが表示された場合は、**今すぐリブート**をクリックします。

### Fiery Command WorkStation v6.8 または v6.7

- 1 Fiery Command WorkStation を起動します。
- 2 **サーバー**をクリックします。
- 3 **EFI IQ > Fiery サーバーのアップデート**を選択します。  
Fiery Cloud Connector がダウンロードされ、インストールを開始します。
- 4 Fiery サーバーが Fiery Cloud Connector にプレインストールされている場合は、**EFI IQ > EFI IQ に接続**を選択します。

**メモ：**FS500/500pro 以降の Fiery サーバーは Fiery Cloud Connector がプレインストールされています。

### Fiery Command WorkStation v6.6 以降

PS パッチを介して Fiery サーバーに Fiery Cloud Connector をインストールします。PS パッチのインストールについては、[Fiery IQ サポートチーム](#)にお問い合わせください。

## Fiery Cloud Connector のトラッキング状況

Fiery Cloud Connector のプレスの各トラッキング状況の詳細は、次の通りです。

- **アクティブ** {nbh} プレスが Fiery IQ クラウドにデータを送信中です。
- **進行中** {nbh} プレスが Fiery IQ クラウドに接続中です。
- **重複** {nbh} プレスは別の Fiery Cloud Connector からすでに Fiery IQ クラウドに接続されています。

- **拒否** {nbh} Fiery IQ がトラッキング開始のリクエストを拒否しました。
- **削除** {nbh} プレスが Fiery IQ クラウドから削除されました。プレスを再びトラッキングするには、Fiery IQ サポートチームに連絡してください。
- **パッシブ** {nbh} Fiery Cloud Connector は Fiery IQ クラウドにデータを送信していません。

## Fiery ColorGuard

Fiery ColorGuard により、産業用プレスの正確かつ一貫したカラーの確認と維持が容易になります。

Fiery ColorGuard で、特定のシステムの検証または再キャリブレーションを行う時期がきたら、オペレーターに対して自動的にプロンプトを表示する、カラー検証スケジュールまたはカラーの再キャリブレーションスケジュールを作成します。サポートされているインライン測定器を使用している場合、ユーザー入力がなくとも検証と再キャリブレーションが自動的に実行されます。オペレーターはカラーをすばやく簡単に確認でき、結果はプロダクションマネージャーがレビューできるように自動的にアップロードされます。オペレーターは、再キャリブレーションを行う際に通知を受けることができます。産業用プレスで一貫したカラー品質を確保するために必要な個別検証、複数のプレスの比較および検証の経時的な傾向を詳しく確認し、再キャリブレーションをスケジュールできます。

各プレスについて、Fiery ColorGuard Web アプリケーションで選択した検証プリセットに対して検証や再キャリブレーションをスケジュールします。その後、Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションによって、スケジュールが保留中であることがプレスオペレーターに通知され、オペレーターはクライアントアプリケーションのワークフローを通じて、プレス、メディア、トナーおよびインクを検証または再キャリブレーションできるようになります。

検証ワークフローでは、クライアントアプリケーションが、オペレーターが印刷済みパッチレイアウトの測定に使用する FieryMeasure を開きます。次に、Fiery Verify が FieryMeasure から測定値を受け取り、その結果の概要を表示します。また、結果の分析も提供します。クライアントアプリケーションは検証結果を web アプリケーションにアップロードし、レビュー、分析、他の結果と比較してさまざまな傾向を特定できます。

再キャリブレーションワークフローでは、クライアントアプリケーションによって Fiery Calibrator が開き、オペレーターはこれを使用して産業用プレスのカラー出力の再キャリブレーションを実行します。Fiery Calibrator は再キャリブレーションのワークフローの一部として FieryMeasure を使用します。

産業用プレスで一貫した正確なカラーを維持するために、次の Fiery ColorGuard アプリケーションを使用してください。

- <https://iq.fiery.com/colorguard/> の Fiery ColorGuard Web アプリケーション - Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションで完了する検証、スポットカラーの検証および再キャリブレーションのスケジュールを設定し、検証結果を追跡します。スポットカラーの検証は、Fiery Spot Pro から開始できます。
- Fiery Command WorkStation と統合した Fiery ColorGuard クライアントアプリケーション - カラーの検証、スポットカラーの検証またはカラー出力の再キャリブレーションを実行するタイミングをプレスオペレーターに通知し、FieryMeasure を使用してカラー出力の印刷と測定を行い、検証結果を Fiery Verify に表示し、検証結果を Fiery ColorGuard Web アプリケーションにアップロードします。

## サポートプリントデバイス

Fiery ColorGuard は、Fiery システムソフトウェア FS200/200 Pro 以降が稼働している Fiery サーバーに接続されている産業用プレスをサポートしています。

現在サポートしている産業用プレスのリストは、<https://www.fiery.com/products/color-imaging/fiery-colorguard/#specifications> を参照してください。

## Fiery ColorGuard web アプリケーション

Fiery ColorGuard web アプリケーションを使用すると、特定のシステムの検証または再キャリブレーションを行う時期がきたら、オペレーターに対して自動的にプロンプトを表示する、カラー検証スケジュールまたはカラーの再キャリブレーションスケジュールを作成します。

オペレーターはカラーをすばやく簡単に確認でき、結果はプロダクションマネージャーがレビューできるように自動的にアップロードされます。オペレーターは、再キャリブレーションを行う際に通知を受けることができます。産業用プレスで一貫したカラー品質を確保するために必要な個別検証、複数のプレスの比較および検証の経時的な傾向を詳しく確認し、再キャリブレーションをスケジュールできます。各プレスについて、Fiery ColorGuard Web アプリケーションで選択可能な検証プリセットに対して検証や再キャリブレーションをスケジュールします。

<https://iq.fiery.com/colorguard/>から Fiery ColorGuard web アプリケーションにアクセスできます。

## サポート対象のブラウザーおよびオペレーティングシステム

Fiery ColorGuard web アプリケーションは、次のブラウザーをサポートしています。Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションは、次のオペレーティングシステムをサポートしています。

### ブラウザー

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

### オペレーティングシステム

**メモ：**Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションは、x64 ビットのオペレーティングシステムのみをサポートしています。

- Microsoft Windows10 以降
- macOS Catalina 10.15 以降

## Fiery ColorGuard でサポートされている測定器

Fiery ColorGuard が印刷された出力を測定し、カラー検証を行うには計測器が必要です。Fiery ColorGuard がサポートしている測定器は以下の通りです。

### サポートされている計測器

- EFI ES-2000
- Fiery ES-3000
- Fiery ES-6000（イーサネット）
- Fiery ES-6000（USB）

- X-Rite i1 iSis
- X-Rite i1iSis XL
- X-Rite i1Pro
- X-Rite i1Pro 2
- X-Rite i1Pro3
- X-Rite i1Pro 3 Plus
- X-Rite i1iO
- X-Rite i1iO 2
- X-Rite i1iO3
- X-Rite i1iO3+
- Barbieri Spectropad (USB 接続のみ)
- Barbieri Spectro LFP
- Barbieri Spectro LFP qb
- Barbieri Spectro Swing
- Konica Minolta FD-5BT
- Konica Minolta FD-9
- 給紙ユニット装着 Konica Minolta FD-9
- Konica Minolta MYIRO-1
- Konica Minolta MYIRO-9
- 給紙ユニット装着 Konica Minolta MYIRO-9
- TECHKON SpectroDens

次のインライン計測器は、検証、キャリブレーション、およびベンチマーク検証でのみサポートされています。


- Canon iPRC10000VP シリーズインライン
- Xerox iGen インライン分光測色計
- Xerox Full Width Array
- Konica Minolta IQ-501

次のインライン測定器は、再キャリブレーションでのみサポートされています。

- Ricoh Auto Color Adjuster

## Fiery ColorGuard Dashboard

ColorGuard Web アプリケーションにログインした後、Fiery ColorGuard **Dashboard** を表示できます。

**メモ：**  をクリックすると、ColorGuard Web アプリケーションの任意のタブから **Dashboard** にアクセスできます。

Fiery ColorGuard **Dashboard** からは、次の操作を行うことができます。

- ショップ概要に、すべてのスケジュールの最新情報を表示します。
- 次のいずれかの方で使用中のプレスのフィルタリングを実行します。
  - **ライセンスあり**
  - **ライセンス削除済**
  - **すべて**
- 次のいずれかの方法で、使用中のプレスを検索します。
  - IP アドレス
  - デバイス名
- スケジュールされた検証を表示するか、**スケジュール作成**をクリックしてスケジュールされた検証を作成します詳細については、[検証スケジュールを作成する](#)（51 ページ）を参照してください。
- スケジュールされた再キャリブレーションを表示するか、**スケジュール作成**をクリックしてスケジュールされた再キャリブレーションを作成します詳細については、[再キャリブレーションスケジュールの作成](#)（53 ページ）を参照してください。
- ライセンスのあるプレスの有効期限日を表示します。
- ライセンス**管理**をクリックして Fiery ColorGuard ライセンスオプションの**ライセンスマネージャ**にアクセスします詳細は、[プレスの Fiery IQ アプリケーションライセンス](#)（19 ページ）を参照してください。

## 検証プリセットを作成する

検証プリセットを作成して、スケジュールされたカラー検証に使用する**カラーリファレンス**、**許容値設定**、**パッチセット**を指定します。



以下の点に留意してください。

- **カラーリファレンス**には、サンプル測定値を比較する対象カラーが含まれます。
 


**メモ：** GRACoL2013 や FOGRA51 などの業界標準色空間は、ほとんどのカラー参照選択肢を含んで構成されています。
- **許容値セット**は、カラーリファレンスとサンプル測定の比較に使われる基準を定義します。
- **パッチセット**には、測定サンプルとして使用するために印刷されるカラーパッチが含まれています。

**メモ：** Idealliance Control Wedge 2013、Fogra Media Wedge V3、IT8.7/4、IT8.7/5 などの業界標準パッチセットは、ほとんどのパッチセット選択肢を含む構成となっています。

検証スケジュールを作成するには、検証プリセットが必要です。



- 1 ColorGuard web アプリケーションで、をクリックします。
- 2 新しいプリセットを作成するか、既存のプリセットを複製します。
  - **新規検証プリセット作成**をクリックして、新しいプリセットを作成します。または、
  - 既存の**検証プリセット**のリストの上にカーソルを置き、をクリックして、既存のプリセットを複製します。


- 3 検証プリセットで、新しいプリセットの名前を入力します。
- 4 検証するカラープロダクションワークフローに適した**カラーリファレンス**を選択します。
  - または、**+**をクリックして、新しいカラーリファレンスをインポートします。詳細は、[カラーリファレンスをインポートする](#) (48 ページ) を参照してください。

**メモ：**選択内容が、実行中のカラー検証ジョブの印刷に使用するソースカラープロファイルと一致していることが推奨されます。
- 5 検証するカラープロダクションワークフローに適した**許容値セット**を選択します。
  - または、をクリックして、新しい許容値セットを作成するか、既存の許容値セットを変更します。詳細は、[許容値設定の作成/編集](#) (49 ページ) を参照してください。
- 6 検証するカラープロダクションワークフローに適した**パッチセット**を選択します。
  - または、**+**をクリックして、新しいパッチセットをインポートします。詳細は、[パッチセットをインポートする](#) (50 ページ) を参照してください。
- 7 **保存**をクリックします。

## 検証プリセットの編集

Fiery ColorGuard で検証プリセットを変更できます。



- 1 ColorGuard Web アプリケーションで、をクリックします。
- 2 **検証プリセット**タブで、既存の検証プリセットリストにカーソルを合わせます。
- 3 をクリックします。
- 4 **検証プリセット**ウィンドウの**検証プリセット**フィールドに任意の名前を入力します。
- 5 検証するカラープロダクションワークフローに適した**カラーリファレンス**を選択します。
  - または、**+**をクリックして、新しいカラーリファレンスをインポートします。詳細は、[カラーリファレンスをインポートする](#) (48 ページ) を参照してください。

**メモ：**選択内容が、実行中のカラー検証ジョブの印刷に使用するソースカラープロファイルと一致していることが推奨されます。
- 6 検証するカラープロダクションワークフローに適した**許容値セット**を選択します。
  - または、をクリックして、新しい許容値セットを作成するか、既存の許容値セットを変更します。詳細は、[許容値設定の作成/編集](#) (49 ページ) を参照してください。
- 7 検証するカラープロダクションワークフローに適した**パッチセット**を選択します。
  - または、**+**をクリックして、新しいパッチセットをインポートします。詳細は、[パッチセットをインポートする](#) (50 ページ) を参照してください。
- 8 **保存**をクリックします。

## 検証プリセットの削除


Fiery ColorGuard から検証プリセットを削除できます。

**メモ：**現在、検証スケジュールで検証プリセットが使用されている場合、**検証プリセット**タブから検証プリセットを削除することはできません。検証スケジュールから検証プリセットを削除する必要があります。

- 1 ColorGuard web アプリケーションで、をクリックします。
- 2 **検証プリセット**タブで、既存の検証プリセットリストにカーソルを合わせます。
- 3 をクリックして既存の検証プリセットを削除します。
- 4 **プリセット削除**ウィンドウで**はい**をクリックします。



## カラーリファレンスをインポートする

カスタム検証プリセットで使えるカラー参照をインポートできます。インポートしたカラーリファレンスを使用した検証プリセットは、スケジュールされた検証にも使用できます。

- 1 ColorGuard web アプリケーションで、をクリックします。
- 2 **カラーリファレンス**タブをクリックします。
- 3 **カラーリファレンスをインポートする**をクリックします。
- 4 **参照**ウィンドウで、インポートするカラーリファレンスに移動します。
- 5 **開く**をクリックします。

## カラーリファレンスの名前の変更

Fiery ColorGuard でカラー参照名を変更できます。



- 1 ColorGuard Web アプリケーションで、をクリックします。
- 2 **カラーリファレンス**タブで、既存のカラーリファレンスリストにカーソルを合わせます。
- 3 をクリックします。
- 4 **カラー参照の名前変更**ウィンドウで、任意の名前を入力します。
- 5 **OK**をクリックします。

## カラーリファレンスの削除

Fiery ColorGuard からカスタムカラー参照を削除できます。

**メモ：**現在、カスタムカラー参照が検証プリセットで使用されている場合、カラー参照を**カラー参照**タブから削除することはできません。検証プリセットからカスタムカラーリファレンスを削除する必要があります。



- 1 ColorGuard web アプリケーションで、をクリックします。
- 2 カラーリファレンスタブで、既存のカラーリファレンスリストにカーソルを合わせます。
- 3 をクリックして既存のカラーリファレンスを削除します。
- 4 カラー参照の削除ウィンドウで**はい**をクリックします。



## 許容値設定の作成/編集

許容値設定は、測定値をカラーリファレンスと比較する際の基準を定義します。制限を超える検証結果を警告または失敗と表示するかどうかを選択できます。

以下を含むカラーワークフローの許容バリエーション限度を把握します。



- $\Delta E$  式
- 通常の  $\Delta E$  限度
- 原色の  $\Delta E$  限度
- 色相差異の  $\Delta H$  限度
- トーン値の許容限度
- 彩度差異の  $\Delta Ch$  限度
- NPDC の  $\Delta L$  限度
- スポットカラー  $\Delta E$  限度

**メモ：**限度は、条件ごとに計算される許容値範囲を定義します

- 1 ColorGuard web アプリケーションで、をクリックします。
- 2 許容値セットタブで、既存の許容値セットのリストにカーソルを合わせます。
- 3 をクリックします。
- 4 (オプション) **許容値設定**の名前を編集します。
- 5  **$\Delta E$  式**を選択します。
- 6 必要な**許容値基準**のチェックボックスを選択します。
- 7 選択した各基準の**限度**を入力します。
- 8 測定値が指定限度を超えたことを示すには、選択した各基準に対して、**警告**または**失敗**を選択します。  
**警告**はあくまで参考情報であり、検証を合格させることができます。  
**失敗**の場合は、検証全体が失敗となります。
- 9 **保存**をクリックします。

## 許容値セットの名前の変更



Fiery ColorGuard の許容値セット名を変更できます。

- 1 ColorGuard Web アプリケーションで、をクリックします。
- 2 **許容値セット**タブで、既存の許容値セットのリストにカーソルを合わせます。
- 3 をクリックします。
- 4 **許容値セットの名前の変更**ウィンドウで、任意の名前を入力します。
- 5 **OK**をクリックします。

## 許容値セットの削除


Fiery ColorGuard から許容値セットを削除できます。

**メモ：**現在、検証プリセットでカスタム許容値セットが使用されている場合、**許容値セット**タブから許容値セットを削除することはできません。検証プリセットからカスタム許容値セットを削除する必要があります。

- 1 ColorGuard web アプリケーションで、をクリックします。
- 2 **許容値セット**タブで、既存の許容値セットのリストにカーソルを合わせます。
- 3 をクリックして既存の許容値セットを削除します。
- 4 **許容値設定の削除**ウィンドウで**はい**をクリックします。


## パッチセットをインポートする


カスタム検証プリセットで使えるパッチセットをインポートできます。インポートしたパッチセットを使用した検証プリセットは、スケジュールされた検証にも使用できます。

- 1 ColorGuard web アプリケーションで、をクリックします。
- 2 **パッチセット**タブをクリックします。
- 3 **パッチセットをインポート**をクリックします。
- 4 **参照**ウィンドウで、インポートするパッチセットに移動します。
- 5 **開く**をクリックします。

## パッチセットの名前の変更

Fiery ColorGuard でパッチセット名を変更できます。



- 1 ColorGuard Web アプリケーションで、をクリックします。
- 2 **パッチセット**タブで、既存のパッチセットリストにカーソルを合わせます。

- 3  をクリックします。
- 4 **パッチセット名の変更** ウィンドウで、任意の名前を入力します。
- 5 **OK** をクリックします。

## パッチセットの削除

Fiery ColorGuard からパッチセットを削除できます。

**メモ：**現在、検証プリセットでカスタムパッチセットを使用している場合、**パッチセット**タブからパッチセットを削除することはできません。検証プリセットからカスタムパッチセットを削除する必要があります。

- 1 ColorGuard web アプリケーションで、 をクリックします。
- 2 **パッチセット**タブで、既存の**パッチセット**リストにカーソルを合わせます。
- 3  をクリックして既存のパッチセットを削除します。
- 4 **パッチセットの削除**ウィンドウで**はい**をクリックします。

## プレスのスケジュール要件

理想的なカラー出力を確保するために、Fiery サーバーで適切なキャリブレーションセットと出力プロファイルが定義されていることを確認してください。製品固有のガイドラインに従って、正しく設定されていることを確認してください。

ColorGuard Web アプリケーションで検証、スポットカラー検証、再キャリブレーションまたはベンチマーク検証スケジュールを作成する前に以下を行い、用紙、メディアまたはサブストレートのカatalogに関連付けます。


- キャリブレーションセットと出力プロファイルの作成。キャリブレーションセットと出力プロファイルの作成の詳細については、『Fiery Color Profiler Suite Help』を参照してください。
- Fiery Command WorkStation でのサーバープリセットの作成。サーバープリセット作成の詳細については、『Fiery Command WorkStation Help』を参照してください。

## 検証スケジュールを作成する

Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションからカラーの確認を行うときに、プレスオペレーターに通知するための検証をスケジュールします。

開始する前に、使用する検証プリセットを確認します。


検証プリセットは、検証テストの基本色空間と許容値を指定します。お好みの CMYK リファレンス (FOGRA や GRACoL など) と許容値セットのプリセットを選択します。

- 1 ColorGuard Web アプリケーションで、次のいずれかを行います。
  - 希望するプレスに移動し、**検証スケジュール**ウィンドウで**スケジュールの作成**をクリックします。
  - をクリックしてから、**スケジュールの新規作成**をクリックすると、**スケジュール**タブに移動します。
- 2 **検証**を選択します。
- 3 **名前**フィールドに新しいスケジュールの名称を入力します。
- 4 検証スケジュールに含める**デバイス**を選択します。
- 5 (オプション) **自動的にインライン測定器で検証する**。チェックボックスをオンにして、追加オプションを有効にします。
  - **検証前に印刷するウォームアップページの枚数**
  - **検証に失敗した場合、再キャリブレーションを実行**
  - **検証前に簡単なエンジンキャリブレーションを実行**
  - **検証に失敗した場合、完全なエンジンキャリブレーションを実行**

サポートされているプリンターを確認するには、次のサイトを参照してください：<https://www.fiery.com/products/color-imaging/fiery-colorguard/#specifications>
- 6 検証スケジュールに適した**ジョブのプロパティ**サーバープリセットを選択します。  
理想的なカラー出力を確保するには、任意のサーバープリセットを使用します。
- 7 **検証プリセット**メニューからプリセットを選択します。
- 8 **次へ**をクリックします。
- 9 カラー検証を実行するタイミングを指定します。
- 10 (オプション) **通知**で、**受信者の追加**をクリックして、特定の受信者に指定したイベント（検証の成功など）の E メール通知を送信します。  
E メール受信者は、Fiery アカウントがなくても検証イベントの通知を受信できます。
- 11 **完了**をクリックします。

## ユニバーサル検証スケジュールを作成する

ユニバーサル検証スケジュールは単一のメディアタイプに対して実行されますが、検証結果はその他のすべてのメディアに適用されます。プリンターが1つのメディアで検証に失敗すると、その他のメディアでも失敗する可能性が高くなります。ユニバーサル検証スケジュールを使用すると、徐々に検証の労力が軽減されます。

- 1 ColorGuard Web アプリケーションで、をクリックして**スケジュール**に移動します。
- 2 カーソルをスケジュールに合わせて、**ユニバーサル検証スケジュール**チェックボックスをオンにします。

## Fiery Spot Pro からのスポットカラー検証スケジュールの作成

Fiery Spot Pro からスポットカラー検証スケジュールを起動できます。


Fiery スポットカラーレポートは、特定の用紙またはサブストレートおよび出力プロファイルに対して選択された 1 つのスポットカラーグループのスポットカラーチェックを実施すると生成されます。このチェックにより、選択されたスポットカラーグループのカラーをプレスがどの程度再現するかを示すレポートが生成されます。

Fiery スポットカラーレポートで測定された  $L^*a^*b^*$  値は、ColorGuard のスポットカラー検証スケジュールの参照値として渡されます。

スポットカラーのチェックを行うには、Fiery Spot Pro のツールバーで **チェック** をクリックします。詳細は、『Fiery Command WorkStation Help』を参照してください。

Fiery スポットカラーレポートウィンドウで **スケジュール作成** をクリックして、Fiery Spot Pro からカラー検証スケジュールを開始した後に、**スポットカラー検証** ウィンドウが ColorGuard Web アプリケーションで開きます。

Fiery Spot Pro から取得したデバイス名、パッチセット、出力プロファイル、スポットカラー数などのスポットカラー検証の詳細情報を確認できます。

- 1 **名前** フィールドに新しいスケジュールの名前を入力するか、またはデフォルトの名前を編集します。
- 2 リストから **許容値設定** を選択します。  
 をクリックすると、許容値設定を編集できます。詳細は、[許容値設定の作成/編集](#) (49 ページ) を参照してください。
- 3 **次へ** をクリックします。
- 4 カラー検証を行う時刻と日付を選択します。
- 5 (オプション) **通知** で、**受信者の追加** をクリックして、指定した受信者に検証合格などの指定したイベントの E メール通知を送信します。  
E メール受信者は、Fiery アカウントがなくても検証イベントの通知を受信できます。
- 6 **完了** をクリックします。

## 再キャリブレーションスケジュールの作成

Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションからカラーの再キャリブレーションが必要になったときに、プレスオペレーターに通知する再キャリブレーション通知をスケジュールできます。

- 1 ColorGuard web アプリケーションで、次のいずれかを行います。
  - 希望するプレスに移動し、**キャリブレーションスケジュール** ウィンドウの **スケジュール作成** をクリックします。
  - **スケジュール** タブに移動し、**スケジュール** (歯) をクリックしてから、**スケジュールの新規作成** をクリックします。
- 2 **再キャリブレーション** を選択します。
- 3 **名前** フィールドに新しいスケジュールの名称を入力します。
- 4 再キャリブレーションスケジュールに含める **デバイス** を選択します。

- 5 適切な **キャリブレーションセット**を選択します。
- 6 **次へ**をクリックします。
- 7 カラーの再キャリブレーションが発生する時刻と日付を設定します。
- 8 (オプション) **通知**で、**受信者の追加**をクリックして、指定した受信者に検証合格などの指定したイベントの E メール通知を送信します。  
E メール受信者は、Fiery アカウントがなくても検証イベントの通知を受信できます。
- 9 **完了**をクリックします。

## ベンチマーク検証スケジュールを作成する



ベンチマーク検証スケジュールを作成し、Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションからベンチマーク検証のタイミングをプレスオペレーターに通知できます。

- 1 ColorGuard web アプリケーションで、次のいずれかを行います。
  - **Dashboard** で希望するプレスに移動し、**検証スケジュールウィンドウでスケジュール作成**をクリックします。
  - **スケジュール** (📅) をクリックし、**スケジュールタブ**に移動してから、**スケジュールの新規作成**をクリックします。
- 2 **ベンチマーク検証**を選択します。
- 3 **名前**フィールドに新しいスケジュールの名称を入力します。
- 4 ベンチマーク検証スケジュールに含める **デバイス**を選択します。
- 5 (オプション) **自動的にインライン測定器で検証**チェックボックスを選択します。
- 6 ベンチマーク検証スケジュールに適した **ジョブのプロパティ**サーバープリセットを選択します。  
理想的なカラー出力を確保するには、好みのサーバープリセットを使用します。
- 7 **許容値設定**を選択します。
- 8 **パッチセット**を選択します。
- 9 **次へ**をクリックします。
- 10 ベンチマーク検証を行う時刻と日付を選択します。
- 11 (オプション) **通知**で、**受信者の追加**をクリックして、指定した受信者に検証合格などの指定したイベントの E メール通知を送信します。  
E メール受信者は、検証イベントの通知を受信するための Fiery アカウントを必要としません。
- 12 **完了**をクリックします。
- 13 (オプション) **検証要求アイコン** (🔍) をクリックして、Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションからベンチマークスケジュールの最初の検証を実行するようにプレスオペレーターに要求します。

最初の検証が完了すると、ベンチマークが作成されます。ベンチマークは後続のベンチマーク検証のカラー参照として使用されます。

## スケジュールを編集する

少なくとも 1 回の検証または再キャリブレーションがスケジュールされている場合は、スケジュールを編集できます。

- 1 ColorGuard Web アプリケーションで、をクリックします。
- 2 編集するスケジュールの上にカーソルを置き、をクリックします。
- 3 必要に応じて、**名前**、**デバイス**、**ジョブのプロパティ**または**検証プリセット**をアップデートします。
- 4 (オプション) **自動的にインライン測定器で検証**チェックボックスを選択します。
- 5 **次へ**をクリックします。
- 6 必要に応じて時刻と曜日をアップデートします。
- 7 (オプション) **通知で受信者の追加**をクリックして、スケジュールされたイベント（検証や再キャリブレーションの成功など）の E メール通知を送信します。




**メモ：**どのメールアドレスでも通知を受け取ることができます。

- 8 **完了**をクリックします。

## スケジュールを一時停止または再開する

少なくとも 1 回の検証または再キャリブレーションがスケジュールされている場合は、スケジュールを一時停止または再開できます。


Fiery ColorGuard Web アプリケーションでは、一時停止した検証スケジュールや再キャリブレーションスケジュールを必要なときに再開できます。一時停止したスケジュールは、Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションに実行するようには送信されず、プレスオペレーターには特定のカラー検証または再キャリブレーションが保留されていることが通知されません。


- 1 ColorGuard Web アプリケーションで、をクリックします。
- 2 一時停止または再開するスケジュールの上にカーソルを置き、次のいずれかを行います。
  - スケジュールを一時停止するには、をクリックします。
  - スケジュールを再開するには、をクリックします。


## 検証を今すぐ要求する

スケジュールされている検証を今すぐ要求できます。

少なくとも 1 回の検証が予定されていることを確認してください。



- 1 ColorGuard Web アプリケーションで、をクリックします。

- 2 要求するスケジュールされた検証の上にカーソルを置き、をクリックします。

**メモ：インライン計測器で自動的に検証** チェックボックスが選択されているスケジュールでをクリックすると、Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションに検証要求が送信され、スケジュールされた検証が自動的に実行されます。




## 再キャリブレーションの即時実施要求

予定されている再キャリブレーションを即時に実施するように要求を送信できます。  
少なくとも 1 回の再キャリブレーションが予定されていることを確認してください。

- 1 ColorGuard Web アプリケーションで、をクリックします。
- 2 要求する再キャリブレーションの上にカーソルを置き、をクリックします。

## 検証履歴を表示する

Fiery ColorGuard Web アプリケーションから、状況を確認し、完了した検証の詳細結果を表示します。

- 1 ColorGuard Web アプリケーションで、をクリックします。
- 2 リストから**検証**または**スポットカラー検証**のいずれかを選択します。
- 3 (オプション) をクリックして、表示する検証結果の範囲を変更します。
- 4 次のいずれかの方法で、使用中のプレスを検索します。
  - IP アドレス
  - デバイス名
- 5 個々の検証結果の上にカーソルを置き、をクリックして詳細な検証結果を表示します。
- 6 次のいずれかの方法で、検証結果をフィルタリングします。
  - 合格
  - 失敗
  - エラー



## Fiery ColorGuard クライアントアプリケーション

Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションを使用すると、オペレーターはすばやくカラーを確認したり、検証結果をクラウドに自動的に報告したり、最近の検証履歴を確認できます。

Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションの構成内容は次のとおりです。

- Fiery ColorGuard クライアントアプリケーション - カラー出力やスポットカラー出力を検証するタイミングをプレスオペレーターに通知し、結果を Fiery ColorGuard Web アプリケーションにアップロードします。
- FieryMeasure - カラー出力を測定します。
- Fiery Verify - 検証結果を表示します。

Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションには、次の方法でアクセスできます。

- Fiery Command WorkStation v7.0 以降の場合：  
Fiery Command WorkStation v7.0 以降に統合されている Fiery ColorGuard クライアント、Fiery Calibrator、FieryMeasure、Fiery Verify などのアプリケーション。Fiery Software Manager から Fiery Command WorkStation の最新のバージョンをダウンロードして、最新の機能を使用できます。
- Fiery Command WorkStation v6.8 以前の場合：  
Fiery ColorGuard デスクトップアプリケーションを <https://iq.fiery.com/colorguard/> からローカルコンピューターにダウンロードしてインストールします。詳細については、[Fiery ColorGuard デスクトップアプリケーションをダウンロードしてインストール](#) (57 ページ) を参照してください。

## Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションをインストールする

アクティブなインターネット接続が必要です。この手順は、Fiery Command WorkStation v7.0 以降を使用している場合にのみ適用されます。

- 1 ColorGuard web アプリケーションで、**ダッシュボード** の **ダウンロード ColorGuard クライアントソフトウェア** をクリックします。
- 2 **今すぐダウンロード** をクリックして、Fiery Command WorkStation v7.0 以降をダウンロードします。
- 3 登録に必要な情報を入力し、**送信** をクリックします。
- 4 **Mac** または **Windows** のいずれかをクリックして、使用しているオペレーティングシステムに適した Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションをダウンロードします。
- 5 Fiery Software Manager インストーラーを開いて実行します。
- 6 Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションにアクセスするには、Fiery Command WorkStation v7.0 をインストールします。

## Fiery ColorGuard デスクトップアプリケーションをインストールする

アクティブなインターネット接続が必要です。この手順は、Fiery Command WorkStation v6.8 以前を使用している場合にのみ適用されます。

- 1 ColorGuard web アプリケーションで、**ダッシュボード** の **ダウンロード ColorGuard クライアントソフトウェア** をクリックします。
- 2 **Mac** または **Windows** のいずれかをクリックして、使用しているオペレーティングシステムに適した Fiery ColorGuard デスクトップアプリケーションをダウンロードします。
- 3 Fiery ColorGuard デスクトップアプリケーションインストーラーを開いて実行します。
- 4 Fiery ColorGuard デスクトップアプリケーションを開きます。
- 5 Fiery アカウントログイン情報を使用して Fiery ColorGuard アカウントにサインインします。

## Fiery Command WorkStation v7.0 以降の Fiery ColorGuard クライアントアプリケーション

Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションは Fiery Command WorkStation v7.0 以降に統合されています。Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションには、次のいずれかの方法でアクセスできます。

- **サーバー > ColorGuard** をクリックします。
- サーバーウィンドウでサーバー名の横にある詳細 (⋮) アイコンをクリックします。
- 通知タブの保留中のスケジュールをクリックします。

通知タブには、Fiery ColorGuard の保留中のスケジュール通知が含まれています。次のいずれかの操作を実行できます。

- **今すぐ再キャリブレーションする** をクリックしてキャリブレーターを開き、再キャリブレーションを完了します。
- **今すぐ検証** をクリックして FieryMeasure を開き、検証またはベンチマーク検証を完了します。

新しくライセンスを取得した Fiery サーバーまたは 30 日間のトライアルライセンスを使用している Fiery サーバーの詳細情報を表示するには、**ライセンス取得済みプリンターをリフレッシュする** をクリックします。ボタンを 5 分に 1 回クリックすると、Fiery サーバーのリフレッシュされたリストおよびスケジュールを確認できます。

## カラー出力またはスポットカラー出力を検証する

Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションで、スケジュールに従って、プレスのカラー出力またはスポットカラー出力を検証できます。

次の点に留意してください。

- インターネット接続
- サポートされている測定器
- プレスにスケジュールされている検証

- 1 Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションを開きます。
- 2 スケジュールアイコン (🕒) をクリックします。

### 3 検証をクリックします。

Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションは FieryMeasure を使用して、検証のためにカラーパッチを印刷および測定します。

**メモ：**スケジュールされた検証の**インライン計測器で自動的に検証**チェックボックスが選択されていると、Fiery Verify はあらかじめスケジュールされた時間になると自動的に**進行中**に変わります。

### 4 計器リストから測定器を選択します。

オプションで、**設定**をクリックして測定器のオプションを設定することもできます。

### 5 チャートサイズリストから、**ジョブのプロパティプリセット** (51 ページ) で指定されたサブストレートに対応するチャートサイズを選択します。

### 6 (オプション) ウォームアップページ数を指定します。

**メモ：**ウォームアップページは、プレスが一定期間使用されていない場合に役に立ちます。

### 7 印刷をクリックします。

### 8 プレスからページを回収し、ウォームアップページをすべて破棄します。

### 9 画面の指示に従って、ページを測定します。

### 10 完了をクリックします。

### 11 検証結果ウィンドウでは、次の操作を実行できます。

- **詳細** (🔍) をクリックして、Fiery Verify の詳細な検証結果を表示
- **レポート** (📄) をクリックして、検証結果を共有可能な PDF ファイルとしてダウンロードし、保存
- **ラベル** (🏷️) をクリックして、検証結果のラベルを PDF ファイルとして作成

## FieryMeasure

FieryMeasure は、測定器を使用してページに印刷されたカラーパッチの行を測定するユーティリティです。FieryMeasure を使用してパッチページを印刷することもできます。

FieryMeasure は Fiery ES-3000 分光測色計などの複数の測定器をサポートしています。

FieryMeasure はカラーの測定データを必要とする他のアプリケーションから起動されます。

### 測定ページの測定

カラー測定器 (分光測色計など) は、カラーパッチからの反射光を測定し、測定結果を数値で記憶します。パッチページを測定する手順は、計器によって異なります。

計器によっては自動キャリブレーション機能により計器が正しく機能しているかチェックされます。たとえば、計器が既存のカラーサンプルを正確に測定できるかどうかをチェックしてキャリブレーションを行います。自動キャリブレーションが使用できる場合は、ページを測定する前に計器のキャリブレーションを行う必要があります。

携帯型計器を使用する場合は、ページの位置設定とパッチの各行の測定に関する指示に従う必要があります。自動式計器の場合は、パッチの各行を測定する際に、人の手を介さずに次の行の測定に進みます。また、計器によっては自動でページの位置を設定します。

## 計器のキャリブレーション

信頼できる測定を行うには、まず測定器をキャリブレートする必要があります。キャリブレーションを正しく行わないと、測定に進むことはできません。

- 1 画面の指示に従って、**次へ**をクリックします。

**メモ：**EFI ES-2000 または Fiery ES-3000 の分光測色計の場合、ドックのホワイトタイルと計器のアパーチャーの両方に汚れが付着していないことを確認します。EFI ES-2000 または Fiery ES-3000 の分光測色計では、ホワイトタイルカバーは必ず開けておいてください。

- 2 計器のキャリブレーションを正しく行えない場合は、**キャンセル**をクリックしてください。

## ES-2000 を使用した測定

EFI ES-2000 分光測色計を使用して、ページ上のカラーパッチを測定できます。

ES-2000 を測定方法に選んだ場合は、計器に対して次の設定を行うことができます。

- **測定モード** - 測定の種類を選択できます。各ストリップを、ワンパスまたは 2 回のパスで測定できます。
  - **M0** - ワンパス、UV を含む
  - **M1** - 2 回のパス、D50、UV を含む
  - **M2** - 2 回のパス、UV カット
- **ルーラー使用** - EFI ES-2000 の下側の位置センサーがルーラー上のストライプを読み取って、EFI ES-2000 の位置を決定します。そのため、ルーラーとともに板を使用して、EFI ES-2000 をストリップに沿ってガイドする必要があります。2 回のパスでストリップの測定を行う場合は、ルーラーを使用する必要があります。
- **パッチサイズ** - 使用可能なパッチサイズを**普通（デフォルト）**、**中**、**大**から選択します。**大**を選択すると、大きいパッチが印刷されるので、低解像度のプリンターでも良好な測定結果が得られます。測定方法は、パッチサイズに関係なく、すべてのパッチで同じです。

ページが正常に測定された場合は、測定値を確認できます。期待どおりの測定値が得られなかった場合は、ストリップを再測定できます。

- 1 滑らかで平らな面にパッチページを置きます。

パッチページ測定用の板とルーラーがある場合は、パッチページの位置を正しく設定します。

**メモ：**ES-2000 では、パッチページの印刷時にルーラーを使用するオプションを選択した場合、必ずルーラーを使用してください。

- 2 ES-2000 が測定中であることを示す画面が表示されたら、画面で指定されたストリップの上または下のホワイトスペースに ES-2000 を置きます。

**メモ：**スキャン測定値からスキャンスポット測定値に切り替えたり、チャートとウェッジの両方について行ごとにスキャン測定値に戻すことができます。

- 3 ボタンを押しながら、パッチのストリップに沿って ES-2000 を一定の速度でゆっくりとスライドします。

- 4 ES-2000 が端の白いスペースに届いたら、ボタンを離します。
- 5 パッチのストリップの 1 つについて測定が成功したら、ES-2000 を次のストリップの先頭にあるホワイトスペースに移動します。
- 6 残りのストリップについても同じ方法で測定し、ページ上のすべてのパッチの測定が完了するまで続けます。
- 7 残りのパッチページがある場合はそれらについても同じ方法で測定し、すべてのパッチページの測定が完了するまで続けます。
- 8 最後のページを測定したら、**次へ**をクリックします。

### ES-3000 を使用して測定する

Fiery ES-3000 分光測色計を使用して、ページ上のカラーパッチを測定できます。

ES-3000 を測定方法に選んだ場合は、計器に対して次の設定を行うことができます。

- **測定モード** - 測定の種類を選択できます。各ストリップを、ワンパスで測定できます。
  - **M0** - ワンパス、UV を含む
  - **M1** - ワンパス、D50 UV を含む
  - **M2** - ワンパス、UV カット
- **ルーラーで測定 (デフォルト)** - Fiery ES-3000 の下側の位置センサーがルーラー上のストライプを読み取って、Fiery ES-3000 の位置を決定します。そのため、ルーラーとともにバックアップボードを使用して、Fiery ES-3000 をストリップに沿ってガイドする必要があります。2 回のパスでストリップの測定を行う場合は、ルーラーを使用する必要があります。
- **パッチサイズ** - 使用可能なパッチサイズを**普通 (デフォルト)**、**中**、**大**から選択します。**大**を選択すると、大きいパッチが印刷されるので、低解像度のプリンターでも良好な測定結果が得られます。測定方法は、パッチサイズに関係なく、すべてのパッチで同じです。
- **ルーラーなしで測定** - このオプションを選択すると、ルーラーとともにバックアップボードを使用せずに大きなパッチを測定できます。

ページが正常に測定された場合は、測定値を確認できます。期待どおりの測定値が得られなかった場合は、ストリップを再測定できます。

- 1 滑らかで平らな面にパッチページを置きます。

パッチページ測定用の板とルーラーがある場合は、パッチページの位置を正しく設定します。

**メモ:** ES-3000 では、パッチページの印刷時にルーラーを使用するオプションを選択した場合、必ずルーラーを使用してください。

- 2 ES-3000 が測定中であることを示す画面が表示されたら、画面で指定されたストリップの上または下の白いスペースに ES-3000 を置きます。

**メモ:** スキャン測定値からスキャンスポット測定値に切り替えたり、チャートとウェッジの両方について行ごとにスキャン測定値に戻すことができます。

- 3 ボタンを押しながら、パッチのストリップに沿って ES-3000 を一定の速度でゆっくりとスライドします。

- 4 ES-3000 が端の白いスペースに届いたら、ボタンを離します。
- 5 パッチのストリップの 1 つについて測定が成功したら、ES-3000 を次のストリップの先頭にある白いスペースに移動します。
- 6 残りのストリップについても同じ方法で測定し、ページ上のすべてのパッチの測定が完了するまで続けます。
- 7 残りのパッチページがある場合はそれらについても同じ方法で測定し、すべてのパッチページの測定が完了するまで続けます。
- 8 最後のページを測定したら、**次へ**をクリックします。

ビデオは[ここから](#)ご覧ください。

### FD-5BT を使用して測定する

Konica Minolta FD-5BT 分光測色計を使用して、ページのカラーパッチを測定できます。

- FD-5BT をコンピューターに接続し、FD-5BT をオンにします。
- FD-5BT の詳細については、計器に付属の取扱説明書を参照してください。

FD-5BT を測定方法に選んだ場合は、計器の設定を行うことができます。

**測定モード** - 測定の種類を選択できます。各ストリップを、ワンパスまたは 2 回のパスで測定できます。

- **M0** - 標準照明（白熱）、UV フィルターなし
- **M1** - 補足照明（D50）、UV フィルターなし
- **M2** - 標準照明（白熱）、UV フィルター（または UV カット）

**メモ：**M0、M1、M2 は、ISO 13655 に記載されている標準的測定条件です。

使用可能なパッチサイズを**普通（デフォルト）**、**中**、**大**から選択します。測定方法は、パッチサイズに関係なく、すべてのパッチで同じです。

ページが正常に測定された場合は、測定値を確認できます。期待どおりの測定値が得られなかった場合は、ストリップを再測定できます。

- 1 滑らかで平らな面にパッチページを置きます。  
より正確に測定するには、測定するページの下に白色の普通紙を数枚敷きます。
- 2 1 行目にストリップガイドを置き、FD-5BT をストリップガイドの上に配置します。  
計器の配置方法を確認するには、**方法を表示**をクリックします。

**メモ：**スキャン測定値からスキャンスポット測定値に切り替えたり、チャートとウェッジの両方について行ごとにスキャン測定値に戻すことができます。

- 3 FD-5BT が測定中であることを示す画面が表示されたら、サンプルアパーチャの先端を、画面で指定されたストリップのどちらかの端にある白いスペースに配置します。
- 4 FD-5BT の側面のボタンを押しながら、パッチのストリップに沿って FD-5BT を一定の速度でゆっくりとスライドします。
- 5 FD-5BT が端の白いスペースに届いたら、ボタンから手を放します。

- 6 パッチのストリップの 1 つについて測定が成功したら、ストリップガイドと FD-5BT を画面で指定された次のストリップに移動します。
- 7 残りのストリップについても同じ方法で測定し、ページ上のすべてのパッチの測定が完了するまで続けます。
- 8 残りのパッチページがある場合はそれらについても同じ方法で測定し、すべてのパッチページの測定が完了するまで続けます。
- 9 最後のページを測定したら、**次へ**をクリックします。

### Spectropad を使用して測定する

コードレスの Barbieri Spectropad 分光測色計を使用して、ページ上のカラーパッチを測定できます。

- Spectropad をコンピューターに接続し、オンにします。
- Spectropad のキャリブレーションを行います（指示があった場合）。
- Spectropad の詳細については、計器に付属の取扱説明書を参照してください。

Spectropad を測定方法として選択した場合、使用可能なパッチサイズを**普通（デフォルト）**、**中**、**大**から選択します。測定方法は、パッチサイズに関係なく、すべてのパッチで同じです。

ページが正常に測定された場合は、測定値を確認できます。期待どおりの測定値が得られなかった場合は、その行を再測定できます。

- 1 滑らかで平らな面にパッチページを置きます。
- 2 Spectropad をページ上に配置し、赤いレーザーを使用して測定ヘッドを 1 行目の中央に合わせます。  
行は下部から始まり、上部に向かって測定されます。  
  
**メモ：**スキャン測定値からスキャンスポット測定値に切り替えたり、チャートとウェッジの両方について行ごとにスキャン測定値に戻すことができます。
- 3 測定ヘッドを、行のどちらかの端にある白いスペースへとスライドさせます。
- 4 Spectropad の画面に表示される速度インジケーターに従い、測定ヘッドをパッチの行に沿って適度なスピードでスライドさせます。  
  
行の測定が完了すると、Spectropad はビープ音を鳴らし、メッセージを表示します。
- 5 パッチの行の 1 つについて測定が成功したら、Spectropad を画面で指示される次の行に移動します。
- 6 残りの行についても同じ方法で測定し、ページ上のすべてのパッチの測定が完了するまで続けます。
- 7 残りのパッチページがある場合はそれらについても同じ方法で測定し、すべてのパッチページの測定が完了するまで続けます。
- 8 最後のページを測定したら、**次へ**をクリックします。

## iliO2 を使用した測定

iliO2 によって ES-2000 が自動的にパッチの各行の上に移動し、測定できるようになります。画面上の画像は各行の測定時の状態を示しています。

ページパッチを測定する前に、iliO2 に接続した ES-2000 をキャリブレーションする必要があります。ES-2000 は iliO2 のホワイトタイルにキャリブレートされます。ホワイトタイルにカバーがかかっていたり、汚れていたりすると、キャリブレーションが失敗することがあります。

iliO2 を測定方法として選択した場合、使用可能なパッチサイズを **普通（デフォルト）**、**中**、**大**から選択します。測定方法は、パッチサイズに関係なく、すべてのパッチで同じです。

ページが正常に測定された場合は、測定値を確認できます。

- 1 最初のパッチページを iliO2 上に配置し、**次へ**をクリックします。

ページの位置を iliO2 のアームに最も近い上端に合わせます。

**メモ：** スキャン測定値からスキャンスポット測定値に切り替えたり、チャートとウェッジの両方について行ごとにスキャン測定値に戻すことができます。

- 2 画面の指示を実行し、「A」とマークされたパッチの上にクロスヘアを配置して、ES-2000 のボタンを押します。「B」および「C」とマークされたパッチについて手順を繰り返します。

画面上の画像はパッチ A、B、C を探すのに便利です。

- 3 **次へ**をクリックします。

- 4 iliO2 によるページ測定が終了したら、**次へ**をクリックします。

- 5 残りのパッチページがある場合はそれらについても最初と同じ方法で測定します。その際、ページの配置とパッチ A、B、C の登録から始めます。

- 6 最後のページを測定したら、**次へ**をクリックします。

## iliO3 を使用して測定する

iliO3 によって ES-3000 が自動的にパッチの各行の上に移動し、測定できるようになります。画面上のイメージは各行の測定時の状態を示しています。

パッチページを測定する前に、iliO3 に接続されている ES-3000 のキャリブレーションを行う必要があります。ES-3000 が iliO3 上の白タイルにキャリブレートされます。白タイルが覆われていたり汚れていたりすると、キャリブレーションに失敗することがあります。

iliO3 を測定方法として選択した場合、使用可能なパッチサイズを **普通（デフォルト）**、**中**、**大**から選択します。測定方法は、パッチサイズに関係なく、すべてのパッチで同じです。

ページが正常に測定された場合は、測定値を確認できます。

- 1 最初のパッチページを iliO3 上に配置し、**次へ**をクリックします。

ページの位置を iliO3 のアームの最も近い上端に合わせます。

**メモ：** スキャン測定値からスキャンスポット測定値に切り替えたり、チャートとウェッジの両方について行ごとにスキャン測定値に戻すことができます。



- 2 画面の指示を実行し、「A」とマークされたパッチの上にクロスヘアを配置して、ES-3000 のボタンを押します。「B」および「C」とマークされたパッチについて手順を繰り返します。  
画面上の画像はパッチ A、B、C を探すのに便利です。
- 3 **次へ**をクリックします。
- 4 iliO3 によるページ測定が終了したら、**次へ**をクリックします。
- 5 残りのパッチページがある場合はそれらについても最初と同じ方法で測定します。その際、ページの配置とパッチ A、B、C の登録から始めます。
- 6 最後のページを測定したら、**次へ**をクリックします。

### Spectro LFP を使用して測定する

Barbieri Spectro LFP は、自動的にページを測定アパーチャの下に配置し、ページを移動してパッチの各行を測定します。画面上の画像は各行の測定時の状態を示しています。

- Spectro LFP をコンピューターに接続し、オンにします。
- Spectro LFP のキャリブレーションを行います。
- Spectro LFP の詳細については、計器に付属の取扱説明書を参照してください。

Spectro LFP を測定方法として選択した場合、使用可能なパッチサイズを **普通 (デフォルト)**、**中**、**大**から選択します。測定方法は、パッチサイズに関係なく、すべてのパッチで同じです。

ページが正常に測定された場合は、測定値を確認できます。

- 1 最初のパッチページをサンプルホルダー上に配置し、サンプルホルダーを Spectro LFP に挿入したら、**次へ**をクリックします。  
画面の表示に従ってページを配置します。  
**メモ：**スキャン測定値からスキャンスポット測定値に切り替えたり、チャートとウェッジの両方について行ごとにスキャン測定値に戻すことができます。
- 2 画面の表示に従って「A」とマークされたパッチの上に十字線を配置し、**次へ**をクリックするか、Enter キーを押します。「B」および「C」とマークされたパッチについて手順を繰り返します。  
画面上の画像はパッチ A、B、C を探すのに便利です。
- 3 **次へ**をクリックします。
- 4 Spectro LFP によるページ測定が終了したら、**次へ**をクリックします。
- 5 残りのパッチページがある場合はそれらについても最初と同じ方法で測定します。その際、ページの配置とパッチ A、B、C の登録から始めます。
- 6 最後のページを測定したら、**次へ**をクリックします。

## Spectro LFP qb を使用して測定する

Barbieri Spectro LFP qb は、自動的にページを測定アパーチャの下に配置し、ページを移動してパッチの各行を測定します。画面上の画像は各行の測定時の状態を示しています。

ページ測定前に、Spectro LFP qb およびコンピューターがローカルエリアネットワークの同じサブネットに接続されている必要があります。わからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

- Spectro LFP qb をコンピューターに接続し、Spectro LFP qb をオンにします。
- Spectro LFP qb のキャリブレーションを行います。
- Spectro LFP qb の詳細については、計器に付属の取扱説明書を参照してください。

Spectro LFP qb は USB 接続ではなくローカルエリアネットワークを介してコンピューターに接続されます。Spectro LFP qb は、ネットワーク上の複数のコンピューターのページを測定するのに使用できます。

ページが正常に測定された場合は、必要に応じて測定値を確認できます。

Spectro LFP qb を測定方法に選んだ場合は、計器に対して次の設定を行うことができます。

**測定モード** - 測定の種類を選択できます。各ストリップを、シングルパスで測定できます。

- **M0** - ワンパス、UV を含む
- **M1** - ワンパス、D50 UV を含む
- **M2** - ワンパス、UV カット
- **M3** - ワンパス、偏光フィルターの適用のみ

使用可能なパッチサイズを**普通（デフォルト）**、**中**、**大**から選択します。測定方法は、パッチサイズに関係なく、すべてのパッチで同じです。

**USB** または**ネットワーク**を選択して、接続設定を選択する必要があります。

ページが正常に測定された場合は、測定値を確認できます。期待どおりの測定値が得られなかった場合は、ストリップを再測定できます。

- 1 最初のパッチページをサンプルホルダー上に配置し、サンプルホルダーを Spectro LFP qb に挿入したら、**次へ**をクリックします。

画面の表示に従ってページを配置します。

**メモ：**スキャン測定値からスキャンスポット測定値に切り替えたり、チャートとウェッジの両方について行ごとにスキャン測定値に戻すことができます。

- 2 画面の表示に従って「A」とマークされたパッチの上に十字線を配置し、**次へ**をクリックするか、Enter キーを押します。「B」および「C」とマークされたパッチについて手順を繰り返します。

画面上の画像はパッチ A、B、C を探すのに便利です。

- 3 **次へ**をクリックします。

- 4 Spectro LFP qb によるページ測定が終了したら、**次へ**をクリックします。

- 5 残りのパッチページがある場合はそれらについても最初と同じ方法で測定します。その際、ページの配置とパッチ A、B、C の登録から始めます。

- 6 最後のページを測定したら、**次へ**をクリックします。

## IiSis または i1iSis XL を使用して測定する

IiSis または i1iSis XL を使用した測定は自動的に行われます。ページが正常に測定された場合は、必要に応じて測定値を確認できます。

ページを測定する前に、測定器が正しく接続されていることを確認します。

- 1 最初の測定ページを、示されている方向で計器に配置し、ボタンを押します。
- 2 残りの測定ページがある場合はそれらについても最初と同じ方法で測定し、すべてのページの測定が完了するまで続けます。
- 3 最後のページを測定したら、**次へ**をクリックします。

## ES-6000 で測定する

ES-6000 分光測色計は、ページを自動的に読み込み、ローカルエリアネットワークを介してコンピュータに接続できる、X-RGA 準拠の計器です。

ページ測定前に、ES-6000 およびコンピュータがローカルエリアネットワークの同じサブネットに接続されている必要があります。わからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

ES-6000 は X-Rite i1 iSis に類似していますが、ES-6000 は USB 接続ではなくローカルエリアネットワークを介してコンピュータに接続されます。ES-6000 は、ネットワーク上の複数のコンピュータのページを測定するのに使用できます。一意の ID がページに印刷されるため、ES-6000 は正しいコンピュータに測定値を送信できます。

ページが正常に測定された場合は、必要に応じて測定値を確認できます。

- 1 パッチページを挿入する前に、計器のボタンを押します。
- 2 ライトが点滅し始めたら、ページに示されている方向で最初の測定ページを計器に入れます。
- 3 残りの測定ページがある場合はそれらについても最初と同じ方法で測定し、すべてのページの測定が完了するまで続けます。
- 4 最後のページを測定したら、**次へ**をクリックします。

## FD-9 を使用した測定

Konica Minolta FD-9 を使用した測定は自動的に行われます。ページが正常に測定された場合は、必要に応じて測定値を確認できます。

ページ測定前に、FD-9 をコンピュータに接続し、FD-9 をオンにします。FD-9 の詳細については、計器に付属の取扱説明書を参照してください。

- 1 計器の用紙ガイドを測定ページの幅に設定します。
- 2 ページが引き込まれるまで、ページの先端を FD-9 に置きます。  
FD-9 計器がオプションのシートフィーダーユニットに接続されている場合は、計器の **OK** ボタンをクリックして測定を開始します。
- 3 残りの測定ページがある場合はそれらについても最初と同じ方法で測定し、すべてのページの測定が完了するまで続けます。

4 最後のページを測定したら、**次へ**をクリックします。

## MYIRO-1 を使用して測定する

Konica Minolta MYIRO-1 分光測色計を使用して、ページのカラーパッチを測定できます。

- MYIRO-1 をコンピューターに接続してオンにします。
- MYIRO-1 の詳細および測定器で Wi-Fi 接続を設定する方法の詳細については、計器に付属の説明書を参照してください。

**メモ：**カラーパッチの測定は、LED が MYIRO-1 で白くなった後 2 秒以内に開始する必要があります。そうしなければ、エラーが発生する可能性があります。

MYIRO-1 を測定方法に選んだ場合は、計器の設定を行うことができます。

**測定モード** - 測定の種類を選択できます。各ストリップを、シングルパスで測定できます。

- **M0** - 標準照明（白熱）、UV フィルターなし
- **M1** - 補足照明（D50）、UV フィルターなし
- **M2** - 標準照明（白熱）、UV フィルター（または UV カット）

**メモ：**M0、M1、M2 は、ISO 13655 に記載されている標準的測定条件です。

使用可能なパッチサイズを**普通（デフォルト）**、**中**、**大**から選択します。測定方法は、パッチサイズに関係なく、すべてのパッチで同じです。

ページが正常に測定された場合は、測定値を確認できます。期待どおりの測定値が得られなかった場合は、ストリップを再測定できます。

1 滑らかで平らな面にパッチページを置きます。

より正確に測定するには、測定するページの下に白色の普通紙を数枚敷きます。

2 1 行目にストリップガイドを置き、MYIRO-1 をストリップガイドの上に配置します。

計器の配置方法を確認するには、**方法を表示**をクリックします。

**メモ：**スキャン測定値からスキャンスポット測定値に切り替えたり、チャートとウェッジの両方について行ごとにスキャン測定値に戻すことができます。

3 MYIRO-1 が測定中であることを示す画面が表示されたら、サンプルアパーチャの先端を、画面で指定されたストリップのどちらかの端にある白いスペースに配置します。

4 MYIRO-1 の側面のボタンを押しながら、パッチのストリップに沿って MYIRO-1 を一定の速度でゆっくりとスライドします。

5 MYIRO-1 が端の白いスペースに届いたら、ボタンを離します。

6 パッチのストリップの 1 つについて測定が成功したら、ストリップガイドと MYIRO-1 を画面で指定された次のストリップに移動します。

7 残りのストリップについても同じ方法で測定し、ページ上のすべてのパッチの測定が完了するまで続けます。

8 残りのパッチページがある場合はそれらについても同じ方法で測定し、すべてのパッチページの測定が完了するまで続けます。

- 9 最後のページを測定したら、**次へ**をクリックします。

### MYIRO-9 を使用した測定

Konica Minolta MYIRO-9 を使用した測定は自動的に行われます。ページが正常に測定された場合は、必要に応じて測定値を確認できます。

ページ測定前に、MYIRO-9 をコンピューターに接続し、MYIRO-9 をオンにします。MYIRO-9 の詳細については、計器に付属の取扱説明書を参照してください。

- 1 計器の用紙ガイドを測定ページの幅に設定します。
- 2 ページが引き込まれるまで、ページの先端を MYIRO-9 に置きます。  
MYIRO-9 計器がオプションのシートフィーダーユニットに接続されている場合は、計器の **OK** ボタンをクリックして測定を開始します。
- 3 残りの測定ページがある場合はそれらについても最初と同じ方法で測定し、すべてのページの測定が完了するまで続けます。
- 4 最後のページを測定したら、**次へ**をクリックします。

### Spectro Swing を使用して測定する

Barbieri Spectro Swing は自動で測定を行います。ページが正常に測定された場合は、必要に応じて測定値を確認できます。

ページを測定する前に、Spectro Swing が正しく接続されていることを確認します。

- 1 最初の測定ページを計器内に配置します。
- 2 残りの測定ページがある場合はそれらについても最初と同じ方法で測定し、すべてのページの測定が完了するまで続けます。
- 3 最後のページを測定したら、**次へ**をクリックします。

### インライン計器で測定する

プレスに取り付けられているインライン計器を使用した測定は自動的に行われます。ページが正常に測定された場合は、必要に応じて測定値を確認できます。

Fiery ColorGuard は次のインライン測定器をサポートしています。

- Canon iPRC10000VP シリーズインライン
- Xerox iGen 150 インライン分光測色計
- Konica Minolta IQ-501

ページを測定する前に、インライン計器をプレスに取り付けておく必要があります。インライン計器の詳細については、計器に付属の取扱説明書を参照してください。

## ページ（計器）を測定する

測定ページを測定する前に、測定器が正しく接続されていることを確認します。計器のキャリブレーションを行います（そのような指示のある場合）。

**メモ：**パッチはイエローパッチまたはブラックパッチの行で区切られることにより、どちらの方向でも計器が測定されるようにすることができます。イエローパッチとブラックパッチは測定データに含まれません。

- 1 最初の測定ページを計器内または計器上に配置します。
- 2 ページの登録が必要な場合は、画面の指示に従ってページ位置を登録します。
- 3 計器でパッチの手動スキャンが必要な場合は、画面の指示に従って各ストリップをスキャンします。

**メモ：**場合によっては、正しいストリップを測定した場合でも、測定が無効であると検出されることがあります。ストリップを再度測定して、正しいストリップが測定されたことを確認します。エラーメッセージは測定プロセスに影響せず、測定器は測定を正常に完了します。

- 4 ページが正常に測定された場合は、測定値を確認できます。  
期待どおりの測定値が得られなかった場合、計器で手動スキャンがサポートされていればストリップを再測定できます。
- 5 残りのページの測定を続けます。
- 6 最後のページを測定したら、**次へ**をクリックします。

## 測定エラー

カラーパッチの測定時には、一連のルールに沿って測定値の有効性が確認されます。これらのルールは、測定値のエラーを検出してストリップをどちらの方向にもスキャンできるように設計されています。

無効な測定値が検出された場合は、測定を繰り返すことができます。

不正な測定値は、次のような原因によって発生している可能性があります。

- 間違ったストリップを測定している（そのストリップが正しいパッチページ上にある場合を含む）。
- 間違ったページを測定している。
- 間違ったカラーを生成する印刷の不具合がページにある。
- 予想しないカラーの原因となる条件がプレスや用紙にある。

**メモ：**場合によっては、正しいストリップを測定した場合でも、測定が無効であると検出されることがあります。ストリップを再度測定して、正しいストリップが測定されたことを確認します。エラーメッセージは測定プロセスに影響せず、測定器は測定を正常に完了します。

## ページの測定後、測定値を確認する

操作を続行する前に、ページの測定値を確認できます。画面上に、選択されたストリップの拡大表示と、その横にストリップがあります。マウスポインターをパッチの上に移動すると、測定値が表示されます。

- 1 画面に表示されているパッチレイアウトで、確認したいストリップをクリックします。
- 2 拡大表示で、確認したいパッチの上にマウスポインターを移動します。

## ストリップの再測定

携帯型の測定器でストリップを再測定できます。画面の拡大表示に、選択したストリップとその次のストリップが表示されます。

- 1 画面のパッチレイアウトで、再測定したいストリップをクリックします。
- 2 拡大表示で、測定したいストリップの番号または文字をクリックします。
- 3 確認メッセージが表示されたら、前と同じようにストリップを測定します。
- 4 **次へ**をクリックして次のページに移動するか、同じ手順を続行します。

## カラー出力の再キャリブレーション

Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションから、設定したスケジュールに従ってプレスのカラー出力の再キャリブレーションを行うことができます。

次の点に留意してください。

- インターネット接続
- サポートされている測定器
- プレスにスケジュールされている再キャリブレーション

- 1 Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションを開きます。
- 2 スケジュールアイコン (🕒) をクリックします。
- 3 **キャリブプレート**をクリックします。

Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションは、Fiery Calibrator および FieryMeasure を使用して再キャリブレーションのカラーパッチの印刷や測定をします。

- 4 **キャリブレーション名**を選択して、**次へ**をクリックします。
- 5 測定の種類を選択します。または、ファイルからパッチレイアウトをインポートする場合は、**インポート**を選択してファイルを選択します。

オプションで、**設定**をクリックして測定器のオプションを設定することもできます。

- 6 リストからパッチセットを選択します。
- 7 実行する再キャリブレーションに対応する**用紙ソース**を選択し、**次へ**をクリックします。
- 8 プレスからパッチセットページを回収し、ウォームアップページをすべて破棄します。
- 9 画面上の指示に従って、パッチセットを測定します。
- 10 **次へ**をクリックします。
- 11 (オプション) 再キャリブレーション結果を確認するには、**テストページ**をクリックします。
- 12 **適用して閉じる**をクリックします。

## Fiery ColorGuard の Fiery Verify

Fiery Verify は、Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションの検証結果を表示します。

結果は、Fiery ColorGuard でスケジュールされている検証に関連する検証プリセットから算出されます。

検証プリセットは、スケジュールされているカラー検証に使用するカラーリファレンス、許容値セット、パッチセットを指定します。

Fiery Verify では、比較のために検証プリセットおよび許容値セットを編集できます。

**メモ：** Fiery Verify で編集した検証プリセットおよび許容値セットは、Fiery ColorGuard にアップロードされません。

Fiery Verify には Fiery ColorGuard ライセンスまたは Fiery Color Profiler Suite ライセンスが必要です。

Fiery Verify は次の携帯型測定器をサポートしています。

- EFI ES-2000
- Fiery ES-3000
- X-Rite i1Pro
- X-Rite i1Pro 2
- X-Rite i1Pro3
- X-Rite i1Pro 3 Plus
- Konica Minolta FD-5BT
- Konica Minolta MYIRO-1

## サンプル測定値を保存する

検証処理の一部として作成された測定サンプルを .it8 ファイルとして保存できます。

- 1 Fiery Verify で、**比較 > サンプルを保存**をクリックします。
- 2 ファイルを保存する場所に移動します。
- 3 ファイル名を入力し、**保存**をクリックします。

## 参照用としてサンプルを保存する

検証プリセットエディターでカラーリファレンスとして使用するために、測定サンプルを保存できます。

- 1 Fiery Verify で、**比較 > 参照用としてサンプルを保存**をクリックします。
- 2 ファイル名を入力し、**保存**をクリックします。



## リファレンスファイルをロードする

リファレンスファイルを Fiery Verify にロードし、測定サンプルと比較できます。

以下の点に留意してください。

- Fiery Verify では、.icc、.txt および .it8 ファイル拡張子がサポートされています。
- リファレンスファイルには、有効な CGATS データが含まれている必要があります。
- .icc ファイルを使用する場合は、IT8.7/4 のデフォルトパッチセットが使用されます。

**1** Fiery Verify で、**比較 > リファレンスをロード**をクリックします

**2** ファイルを選択して、**開く**をクリックします。

リファレンスファイルが Fiery Verify にロードされます。

## サンプルファイルをロードする

サンプルファイルを Fiery Verify にロードし、リファレンスファイルと比較できます。

次の点に留意してください。

- Fiery Verify では、.icc、.txt および .it8 ファイル拡張子がサポートされています。
- サンプルファイルには、有効な CGATS データが含まれている必要があります。
- .icc ファイルを使用する場合は、IT8.7/4 のデフォルトパッチセットが使用されます。

**1** Fiery Verify で、**比較 > サンプルをロード**をクリックします。

**2** ファイルを選択して、**開く**をクリックします。

サンプルファイルが Fiery Verify にロードされます。

## パッチ測定

新しく測定したカラーパッチと印刷したカラーパッチを比較できます。

サポートされている携帯型測定器がコンピューターに接続されていることを確認します。

**1** 印刷したカラーパッチを比較するには、次のいずれかの手順を実行します。

- **ファイル > 新しい比較**をクリックします。
- カラーリファレンスファイルまたはサンプルファイルから測定値をロードします。

**2** **比較 > パッチ測定を開始**をクリックします。

**3** 画面のキャリブレーション手順に従って、測定器をキャリブレーションします。

**4** **測定モード**をクリックし、任意の測定モードを選択します。

**5** **キャリブプレート**をクリックします。

**6** **リファレンス**または**サンプル**の行をクリックして、カラー測定値を設定します。

- 7 測定するカラーパッチの上に測定器を配置します。
- 8 測定器を使用してカラーパッチをスキャンします。  
Fiery Verify は、測定したパッチ値をリファレンス列または サンプル列にリストされている値と自動的に比較し、結果を表示します。
- 9 パッチがすべて測定されたら、**測定を停止**をクリックします。

## リファレンスとして使用するパッチページを測定する

Fiery Verify でカラー参照として使用するパッチページを測定できます。  
印刷済みのパッチページが必要です。

**メモ：**Fiery Verify により測定値が.it8 ファイルとして保存されます。

- 1 Fiery Verify で、**比較 > リファレンスを測定**をクリックします。  
Fiery Verify では、FieryMeasure を使用してサンプルカラーパッチを測定します。
- 2 **計器**リストから測定器を選択します。  
オプションで、**設定**をクリックして測定器のオプションを設定することもできます。
- 3 測定の種類を選択します。または、ファイルからパッチレイアウトをインポートする場合は、**インポート**を選択してファイルを選択します。
- 4 測定器に適したページレイアウトを選択します。
- 5 **チャートサイズ**リストから、ワークフローに適しており、プレスにロードされているサブストレートに対応するチャートサイズを選択します。
- 6 **測定**をクリックします。
- 7 画面の手順に従って、測定器のキャリブレーションを行います。
- 8 画面の指示に従って、パッチレイアウトページを測定します。

## サンプルファイルを測定する

Fiery Verify のサンプルファイルとして使用するパッチページを測定できます。  
印刷済みのパッチページが必要です。


**メモ：**Fiery Verify により測定値が.it8 ファイルとして保存されます。

- 1 Fiery Verify で、**比較 > サンプルを測定**をクリックします。  
Fiery Verify は FieryMeasure を使用してサンプルカラーパッチを測定します。
- 2 **計器**リストから測定器を選択します。  
オプションで、**設定**をクリックして測定器のオプションを設定することもできます。
- 3 測定の種類を選択します。または、ファイルからパッチレイアウトをインポートする場合は、**インポート**を選択してファイルを選択します。

- 4 測定器に適したページレイアウトを選択します。
- 5 **チャートサイズ**リストから、ワークフローに適しており、プレスにロードされているサブストレートに対応するチャートサイズを選択します。
- 6 **測定**をクリックします。
- 7 画面の手順に従って、測定器のキャリブレーションを行います。
- 8 画面の指示に従って、パッチレイアウトページを測定します。


## レポートを保存する

検証比較の詳細を PDF ファイルとして保存できます。

- 1 Fiery Verify で次のいずれかを行います。
  - **ファイル > PDF にエクスポート > レポート**をクリックします。
  - **レポートアイコン**  をクリックします。
- 2 レポートを保存する場所に移動し、**保存**をクリックします。





## 検証ラベルを作成する

検証比較の詳細をラベルとして PDF ファイルに保存できます。

- 1 Fiery Verify で検証が完了したら、**ラベルアイコン**  をクリックします。  
ラベルが PDF ファイルとして作成され、デフォルトの PDF ビューアで開かれます。
  - 2 PDF ファイルを印刷または保存します。
- メモ：**G7 グレースケール許容値セットには、カラーリファレンスファイルは必要ありません。

## 最近の検証履歴を表示する

Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションで、最近完了した検証の状況と結果を確認できます。  
最近完了した検証の結果の詳細レポートを表示またはダウンロードできます。

- 1 Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションを開きます。
- 2  をクリックします。
- 3  をクリックして、検証結果を表示します。
- 4 検証結果ウィンドウでは、次の操作を実行できます。
  - **詳細** () をクリックすると、**Fiery Verify** の詳細な検証結果が表示されます。
  - **レポート** () をクリックして、検証結果を共有可能な PDF ファイルとしてダウンロードし、保存します。

- **ラベル** (🏷️) をクリックして、検証結果のラベルを PDF ファイルとして作成します。
- **再キャリブレート** (🔧) をクリックすると、再キャリブレーションを実行できます。

## 再検証

使用中のプレスが再キャリブレートされた後で、カラーを再検証できます。

次の点に留意してください。

- インターネット接続
  - サポートされている測定器
  - 再キャリブレートされたプレス
- 1 Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションを開きます。
  - 2 🏠 をクリックします。
  - 3 🔄 をクリックして、検証結果を再検証します。
  - 4 **計器** リストから測定器を選択します。  
オプションで、**設定** をクリックして測定器のオプションを設定することもできます。
  - 5 **チャートサイズ** リストで、**ジョブのプロパティプリセット** (51 ページ) で指定されたサブストレートに対応するチャートサイズを選択します。
  - 6 (オプション) ウォームアップページ数を指定します。  
ウォームアップページは、プレスが一定期間使用されていない場合に有効です。
  - 7 **印刷** をクリックします。
  - 8 プレスからページを回収し、ウォームアップページをすべて破棄します。
  - 9 画面の指示に従って、パッチページを測定します。
  - 10 **完了** をクリックします。
  - 11 検証結果ウィンドウでは、次の操作を実行できます。
    - **詳細** (🔍) をクリックして、Fiery Verify で詳細な検証結果が表示します。
    - **レポート** (📄) をクリックして、検証結果を共有可能な PDF ファイルとしてダウンロードし、保存します。
    - **ラベル** (🏷️) をクリックして、検証結果のラベルを PDF ファイルとして作成します。
    - **再キャリブレート** (🔧) をクリックして、再キャリブレーションを実行します。

## 失敗した検証

使用中のプレスが検証に失敗した場合は、次のいずれかを実行します。

- プレスの再キャリブレーション
- 正しいサブストレートがロードされていることの確認
- プレスの製造元により指定されたインクまたはトナーの使用
- カラー参照と許容値設定に固有の出力プロファイルの作成
- 印刷会社の温度や湿度などの環境要因が、プレスの製造元により指定された範囲内であることの確認
- 使用中のプレスの保守点検

## Mac コンピューターで Fiery ColorGuard デスクトップアプリケーションをアンインストールする

使用する必要が無ければ、Mac コンピューターで Fiery ColorGuard デスクトップアプリケーションをアンインストールできます。

この手順は、Fiery Command WorkStation v6.8 以前を使用している場合にのみ適用されます。

- 1 アプリケーションフォルダーを開き、**Fiery Software Uninstaller** をダブルクリックします。
- 2 **Fiery ColorGuard** を選択します。
- 3 **アンインストール** をクリックし、画面に表示される指示に従います。

## Windows コンピューターで Fiery ColorGuard デスクトップアプリケーションをアンインストールする

使用する必要が無ければ、Windows コンピューターで Fiery ColorGuard デスクトップアプリケーションをアンインストールできます。

この手順は、Fiery Command WorkStation v6.8 以前を使用している場合にのみ適用されます。

- 1 Windows のコントロールパネルを開きます。
- 2 **プログラムのアンインストール** をクリックします。
- 3 **Fiery ColorGuard** を選択します。
- 4 **アンインストール** をクリックし、画面に表示される指示に従います。

## Mac コンピューターで Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションをアンインストールする

Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションをアンインストールするには、Fiery Command WorkStation をアンインストールする必要があります。この手順は、Fiery Command WorkStation v7.0 以降を使用している場合に適用されます。

- 1 アプリケーションフォルダーを開き、**Fiery Software Uninstaller** をダブルクリックします。
- 2 **Fiery Command WorkStation** パッケージを選択します。

- 3 アンインストールをクリックし、画面に表示される指示に従います。

## Windows コンピューターで Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションをアンインストールする

Fiery ColorGuard クライアントアプリケーションをアンインストールするには、Fiery Command WorkStation をアンインストールする必要があります。この手順は、Fiery Command WorkStation v7.0 以降を使用している場合に適用されます。

- 1 デスクトップで、Windows ロゴ（スタートボタン）をクリックし、**Fiery > Fiery Software Manager** を選択します。
- 2 Fiery Command WorkStation パッケージの削除ボタンをクリックします。
- 3 画面の指示に従います。

## Fiery Manage

印刷プロダクションが滞りなく進むよう、印刷環境を常に把握します。

Fiery Manage アプリケーションを使用すると、次のことが可能になります。

- 同じモデルのすべてのデバイス間で設定を作成、保存、展開して、より一貫した品質と予測可能なプロダクションを実現します。
- マスター設定と一致しない Fiery システムを確認してレポートすることで、直ちに対策を講じ、Fiery サーバーを設定と一致する状態に戻すことができます。
- 印刷デバイスの問題や、印刷プロダクションをブロックしているデバイス設定の変更を特定し、プロダクションの減速を最小限に抑えることができます。
- Fiery サーバー設定情報にリモートでアクセスできます（Fiery 設定レポート）。

**メモ：**Fiery Manage では各プレスにライセンスが必要です。Fiery Manage アプリケーションライセンスまたはライセンス更新を購入するには、Fiery サプライヤーにお問い合わせください。

**メモ：**プレスそれぞれに Fiery Manage ライセンスを割り当てるには、[プレスの Fiery IQ アプリケーションライセンス](#)（19 ページ）を参照してください。

## サポートプリントデバイス


Fiery Manage は、Fiery システムソフトウェア FS200/200 Pro 以降が稼働している Fiery サーバーに接続されている産業用プレスをサポートしています。

現在サポートしている産業用プレスのリストは、<https://resources.fiery.com/iq/supported-printers> を参照してください。

## 同期パッケージの作成

同じモデルのプレスそれぞれにインストールされているリソースを同期するためのパッケージを作成できます。

作成開始前に、同期パッケージ内容のソースとして使用するプレスを把握します。

1 **Manage** アプリケーションで、をクリックします。

2 **同期パッケージの作成**をクリックします。

**メモ：**新しい同期パッケージを作成するには、有効な Fiery Manage ライセンスが必要です。

3 **パッケージ名の指定**フィールドに同期パッケージの名称を入力します。

4 必要に応じて、**説明**フィールドに説明を入力します。


5 **次へ**をクリックします。

6 ソースプレスを選択し、**次へ**をクリックします。

7 **パッケージの作成**をクリックします。

## 同期パッケージのデプロイ

リソース同期パッケージは、コレクションと個々のデバイスに展開できます。

1 **Manage** アプリケーションで、をクリックします。

2 **デプロイ**をクリックします。

3 デプロイ名を入力して、**次へ**をクリックします。

4 **コレクションとデバイス**で、同期パッケージを受け取るコレクションと各デバイスのチェックボックスをオンにします。


5 次のいずれかをクリックします。

- **今すぐ展開** - リソース同期パッケージを今すぐ展開する場合。
- **スケジュール** - リソース同期パッケージを後ほど展開する場合。

6 同期する日付と時刻を選択し、同期展開のお知らせを送信するタイミングを選択します。

## コンプライアンスの確認

デバイスを標準に照らしてチェックし、パッチやプログラムがインストールされていることを確認できます。

1 **Manage** アプリケーションで、をクリックします。

2 コンプライアンスマスターとして機能させる Fiery サーバーを選択します。

コンプライアンスマスターは、コンプライアンスチェックの基準として機能します。


### 3 コンプライアンスレポートのダウンロードをクリックして、コンプライアンスレポートを.txt バージョンでダウンロードします。

.txt のコンプライアンスレポートには、Fiery サーバーに含まれている IP アドレスが含まれます。

## Fiery サーバー設定をダウンロード

使用しているデバイスの、最新または最後に作成した Fiery サーバー設定をダウンロードできます。

Fiery サーバーを再起動すると、最新の Fiery サーバー設定が自動的にクラウドにアップロードされます。

1 **Manage** アプリケーションで、をクリックします。

2 サーバー設定をダウンロードするデバイスの横にある**アクション**列のをクリックします。

3 必要なことによって、次のいずれかの手順を実行します。

- 最新のサーバー設定をダウンロードするには、**最新の Fiery サーバー設定を要求**をクリックします。

**メモ：**最新のサーバー設定は、Fiery サーバーがオンラインのときのみダウンロードできます。

- 最後に作成したサーバー設定をダウンロードするには、**ダウンロード**をクリックします。

**メモ：**Fiery サーバーがオフラインのときは、最後に作成したサーバー設定のみをダウンロードできません。

Fiery サーバー設定ファイルはローカルのシステムにダウンロードされます。

## Fiery Notify

Fiery Notify によって、プロダクションブロックイベントの警告やプロダクションレポートおよび設定レポートの通知をスケジュールに入れることができます。

Fiery Notify アプリケーションを使用すると、次のことが可能になります。

- プロダクションブロックイベントの警告やプロダクションレポートおよび設定レポート通知をオンにする
- ライセンスのあるプレスまたはプレスコレクションの設定レポートの作成
- 各通知タイプの状況表示
- 警告スケジュールの設定

## サポートプリントデバイス

Fiery Notify は、Fiery システムソフトウェア FS200/200 Pro 以降を実行する Fiery サーバーに接続された産業用プレス および大型プレスに対応しています。

現在サポートしている産業用プレスおよび大型プレスのリストは、<https://resources.fiery.com/iq/supported-printers> を参照してください。



## プロダクションブロックイベントに関する警告を有効にする

登録されている Fiery サーバーのプロダクションがブロックされると、Fiery Notify が登録されている E メールアドレスに警告を送信します。

- 1 **Notify** アプリケーションで、**プロダクションブロックの警告**に移動します。
- 2 **設定**をクリックします。  
もしくは、切り替えボタンをクリックします。
- 3 プロダクションブロックの警告を受け取る間隔を選択します。
- 4 **完了**をクリックします。
- 5 ウィンドウが表示されたら、**完了**をクリックします。

## プロダクションレポートの通知を有効にする

Fiery Notify は、登録済み E メールアドレスに、登録した Fiery サーバーのプロダクション詳細を送信します。

- 1 **Notify** アプリケーションで、**プロダクションレポート**に移動します。
- 2 **設定**をクリックします。  
もしくは、切り替えボタンをクリックします。
- 3 プロダクションレポートを受け取る間隔を選択します。  
プロダクションレポートの受け取りに設定できる間隔は、毎日、毎週、または毎月です。
- 4 **完了**をクリックします。
- 5 ウィンドウが表示されたら、**完了**をクリックします。  
次の点に注意してください。
  - Fiery Notify は、現地時間の午前 3 時にプロダクションレポート通知を送信します。週次レポートは毎週日曜日に送信され、月次レポートは翌月初日に送信されます。
  - プロダクションレポートには、アクティブなデバイスに関する情報のみが含まれます。

## 警告と通知の変更

Fiery Notify の警告や通知の間隔を変更できます。

- 1 **Notify** アプリケーションで、変更する警告または通知に移動します。  
通知または警告がオンになっている場合、**状況列**に**アクティブ**と表示されます。
- 2 **設定**をクリックします。
- 3 間隔を変更します。
- 4 **完了**をクリックします。

- 5 ウィンドウが表示されたら、**完了**をクリックします。

## 設定レポート

設定レポートを使用すると、指定した期間の使用中のプレスまたは プレスコレクションの設定詳細を表示できます。

管理者またはサポートユーザーは、設定レポートを作成したり、Fiery Notify で定義されている頻度に基づいて定期的に通知を受け取ったりすることができます。

**メモ：**設定レポートを作成または表示するには、Fiery Manage ライセンスが必要です。

## 設定レポートの列

設定レポートの列には、ライセンスのある Fiery サーバーで定義または設定されているさまざまな属性が表示されます。

簡易ネットワーク管理プロトコル（SNMP）を使用すると、リモートアクセスで Fiery サーバーを監視できます。設定レポートで SNMP 関連属性の値を取得するには、Fiery サーバーで SNMP を有効にする必要があります。プレス製造元にもよりますが、すべてのプレスについて**プリンター SN**、**SNMPName** および **SNMPRepo** の各列の値が表示されるわけではありません。

設定レポートに表示するように選択できる情報は、プレスによって異なります。一部の列は、プレスによっては値が表示されない場合があります。詳細については、使用しているプレス仕様を参照するか、Fiery のサプライヤーにお問い合わせください。

表には、設定レポート列で使用できる属性の一覧が示されています。

**メモ：**Fiery サーバーを変更または更新した場合、アップデートしたデータが設定レポートに表示されるまで時間がかかることがあります。

デバイス情報列	説明
Fiery Name	管理者が定義した Fiery サーバーの名前
Fiery IP	Fiery サーバーのインターネットプロトコル（IP）アドレス
MAC Address	Fiery サーバーのメディアアクセス制御（MAC）アドレス
最終アップデート	Fiery IQ が指定プレスのデータを Fiery サーバーから最後に取得した時刻と日付
Fiery version	Fiery サーバーにインストールされたコードベースバージョン
Fiery subversion	Fiery サーバーにインストールされたコードベースのマイナーリリースバージョン
JDF version	Fiery JDF バージョン ジョブ定義形式（JDF）を使用すると、印刷ジョブのクロスベンダーワークフロー実装が容易になります。
FCC バージョン	インストールされた Fiery Cloud Connector のバージョン
Disk size	Fiery サーバーの総ディスク容量（メガバイト単位）

デバイス情報列	説明
OS	Fiery サーバーにインストールされているオペレーティングシステム (OS)
Fiery SN	Fiery サーバーのシリアル番号
Printer SN	プレスのシリアル番号
Auto System Updates	Fiery サーバーでの自動システムアップデートの可用性
Uptime	Fiery サーバーが最後にリブートされた時間
SysUTCTime	協定世界時 (UTC) で表示した Fiery サーバーのシステム時刻
Timezone	プレス設置場所のタイムゾーン
DST	夏時間 (DST) のサポート。「1」は DST がサポートされていることを表し、「0」は指定されたタイムゾーンで DST がサポートされていないことを表します。
SNMPReadCommunity	SNMP 値を読み取りできるコミュニティ名
SNMPWriteCommunity	SNMP 値を書き込みできるコミュニティ名
SNMPVersion	SNMP のバージョン
SNMPSysUpTime	SNMP が最後に再初期化されてからの経過時間 時刻は 100 分の 1 秒単位で表示され、エポックベースの時刻形式で表示されます。
SNMPName	SNMP 名
SNMPRepo	プレスと通信する Fiery サーバーの内部 IP アドレス
Cal-Expiration	Fiery サーバーのキャリブレーション有効期間
FCC タイプ	埋め込み型または非埋め込み型の Fiery Cloud Connector 埋め込み型 Fiery Cloud Connector は Fiery サーバーにインストールされ、非埋め込み型 Fiery Cloud Connector はリモートマシン上の Fiery サーバーに搭載されます。
モデル	プレスモデルの名前
FCC の状態	Fiery Cloud Connector のオフライン状態またはオンライン状態
Cal-Plain	普通紙キャリブレーションセットの最終キャリブレーション値
DHCP-auto	WebTools の DHCP 状態は、「はい」は DHCP がオンになっていることを表し、「いいえ」は DHCP がオフになっていることを表します。
DNS-auto	WebTools の DNS の状態は、「はい」は DNS がオンになっていることを表し、「いいえ」は DNS がオフになっていることを表します。

デバイス情報列	説明
NTP-enabled	WebTools の NTP の状態は、「はい」は NTP がオンになっていることを表し、「いいえ」は NTP がオフになっていることを表します。  <b>メモ：</b> NTP では自動日時のオプションを設定できます。
NTP-usepool	WebTools に表示される SNTP タイムサーバー名

## 設定レポートの作成

Fiery Notify は、登録した Fiery サーバーの設定詳細を指定した E メールアドレスに送信します。

- 1 **Notify** アプリケーションで、**設定レポート**に移動します。
- 2 **設定レポートを作成**をクリックします。
- 3 **レポート名**フィールドに、レポートの名前を入力します。
- 4 設定レポートを受け取る間隔を選択します。

**メモ：**設定レポートの受け取りに設定できる間隔は、毎日、毎週、または毎月です。

- 5 次のいずれかまたは両方の操作を行って、構成レポートの受信方法を指定します。
  - 設定レポートをメールで受信するには、**E メール**チェックボックスをオンにします。設定レポートの受信者のメールアドレスを入力します。設定レポートのメール件名および本文を入力します。
  - 設定レポートを SFTP で受信するには、**SFTP** チェックボックスをオンにします。設定レポートを受信するには、**SFTP** アカウントを選択してください。設定レポートの送信先となる SFTP アカウントを選択します。SFTP アカウントを追加していない場合は、**SFTP の新規追加**をクリックして追加できます。**SFTP 設定 管理コンソール**にリダイレクトされたら、SFTP アカウントを追加できます。

SFTP アカウントの追加については、[設定用の SFTP アカウントを追加する](#)（21 ページ）を参照してください。

- 6 **次へ**をクリックします。
- 7 **デバイスを選択**をクリックし、次のリストから選択します。

- **プリンターコレクション**タブで、プレスコレクションを選択します。
- **プリンター**タブで、個々のプレスを選択します。プレス名を検索することもできます。

**メモ：**Fiery Manage ライセンスを使用してアクティベートされている プレスまたはプレスコレクションのみ、**デバイスを選択**リストから選択できます。

- 8 **項目の選択**フィールドで、設定レポートに含める設定タイプのチェックボックスを選択します。

**メモ：**設定レポート列の詳細や内容については、[設定レポートの列](#)（82 ページ）を参照してください。

- 9 **次へ**をクリックします。
- 10 **アップロード**をクリックして、設定レポートに含めるパッチファイルをアップロードします。  
または、パッチ識別番号を入力し、**追加**をクリックします。

## 11 保存をクリックします。

設定レポートは最大 10 件作成できます。

Fiery Notify は、現地時間の午前 1 時に設定レポートの通知を送信します。週次レポートは毎週日曜日に送信され、月次レポートは翌月初日に送信されます。

## 設定レポートの編集

Fiery Notify の設定レポートを編集できます。

- 1 **Notify** アプリケーションで、**設定レポート**に移動します。
- 2 編集する設定レポートの横にある詳細（**⋮**）アイコンをクリックします。
- 3 **編集**を選択します。
- 4 必要に応じてレポートの詳細を変更し、**次へ**をクリックします。
- 5 必要に応じてデバイスと項目を変更し、**次へ**をクリックします。
- 6 必要に応じてパッチを変更し、**保存**をクリックします。

## 設定レポートの複製

Fiery Notify の設定レポートを複製できます。

- 1 **Notify** アプリケーションで、**設定レポート**に移動します。
  - 2 複製する設定レポートの横にある詳細（**⋮**）アイコンをクリックします。
  - 3 **複製**を選択します。
  - 4 複製した設定レポートのレポート名を変更し、**次へ**をクリックします。
  - 5 **次へ**をクリックした後に、**保存**をクリックします。
- 複製した設定レポートは、新しい名前で作成されます。

## 設定レポートの削除

Fiery Notify の設定レポートを削除できます。

- 1 **Notify** アプリケーションで、**設定レポート**に移動します。
- 2 削除する設定レポートの横にある詳細（**⋮**）アイコンをクリックします。
- 3 **削除**を選択します。
- 4 **OK** をクリックします。

## 警告の無効化

Fiery Notify からの警告または通知を無効にできます。

- 1 **Notify** アプリケーションで、無効にしたい通知に移動します。
- 2 アクティブになっている切り替えボタンをクリックして、通知または警告を無効にします。  
通知または警告が無効になっている場合、**状況列**に**非アクティブ**と表示されます。

# 大型プレス用 Fiery IQ

大型プレスは、1 枚の大きな用紙への印刷に使用されるワイド形式またはスーパーワイド形式のインクジェットプレスです。

産業用プレス対応の Fiery IQ は、次のタスクを実行できるクラウドアプリケーションのスイートパッケージです。

- プレスの管理
- 最適な量のインクを注文
- 警告のスケジュール

大型プレス用 Fiery IQ は、次のアプリケーションをサポートしています。

- [Fiery Cloud Connector](#) (87 ページ)
- [Fiery InkWise \(BETA\)](#) (88 ページ)
- [Fiery Notify](#) (96 ページ)

現在サポートしている大型プレスのリストは、<https://resources.fiery.com/iq/supported-printers> を参照してください。

## Fiery Cloud Connector

Fiery Cloud Connector がプレスを Fiery IQ サービスに接続します。

Fiery IQ は、印刷サービスプロバイダーの豊富なクラウドアプリケーションを含むクラウドプラットフォームです。

Fiery Cloud Connector では、プレスおよび Fiery IQ サービスや Web アプリケーションへの接続の管理、登録、トラッキングが行えます。

## サポートプリントデバイス

現在サポートしている大型プレスのリストは、<https://resources.fiery.com/iq/supported-printers> を参照してください。

## インストール

大型プレス用の Fiery Cloud Connector は、サービス担当者がインストールする必要があります。

## Fiery Cloud Connector のトラッキング状況

Fiery Cloud Connector のプレスの各トラッキング状況の詳細は、次の通りです。

- **アクティブ** {nbh} プレスが Fiery IQ クラウドにデータを送信中です。
- **進行中** {nbh} プレスが Fiery IQ クラウドに接続中です。
- **重複** {nbh} プレスは別の Fiery Cloud Connector からすでに Fiery IQ クラウドに接続されています。
- **拒否** {nbh} Fiery IQ がトラッキング開始のリクエストを拒否しました。
- **削除** {nbh} プレスが Fiery IQ クラウドから削除されました。プレスを再びトラッキングするには、Fiery IQ サポートチームに連絡してください。
- **パッシブ** {nbh} Fiery Cloud Connector は Fiery IQ クラウドにデータを送信していません。

## Fiery InkWise (BETA)

Fiery InkWise はインク消費量傾向に基づいて、インク在庫の最適な注文数量を示します。

Fiery InkWise アプリケーションを使用すると、次のことが可能になります。

- 正確なインク在庫を適切なタイミングで注文できるおすすめ E メールを受け取る。
- **インク注文の推奨** E メールで注文したインクを確認する。
- インクの在庫維持費を削減する。
- 過剰なインク在庫、およびこれに伴うインクの有効期限切れのリスクを回避する。
- 実消費量と予想消費量、および在庫に基づいたインク順序のスマートおすすめを提供します。

**メモ：** InkWise モバイルアプリケーションでは、リモートでインクの在庫を確認できます。[My Inks](#) (26 ページ) を参照してください。

## サポートプリントデバイス

現在サポートしている大型プレスのリストは、<https://resources.fiery.com/iq/supported-printers> を参照してください。

## Fiery InkWise を設定する

初めてログオンするときは、Fiery InkWise アプリケーションを設定する必要があります。

- 1 Fiery Dashboard ページで、**InkWise** をクリックします。
- 2 **開始** をクリックします。
- 3 プレスのリストを確認し、**次へ** をクリックします。



- 4 スtockで使用可能な次のインクに関する詳細をアップデートします。
  - **部品名** {nbh} インクの名前
  - **部品番号** {nbh} インクボトルの部品番号
  - **プリンターモデル** {nbh} 特定のインクを使用するプレスモデル
  - **ボトル当たりのリットル/kg** {nbh} ボトル 1 本あたりのインク量
  - **使用可能なボトル** {nbh} 現在のStockで使用可能な特定のインクボトルの合計数量
  - **予備保管** {nbh} Stockに保管する特定のインクボトルの最小数量
- 5 **次へ**をクリックします。
- 6 インク注文に関するおすすめを受信するには、インクサプライヤーのターンアラウンドタイムと E メールアドレスを指定します。
 

**メモ：** Fiery InkWise は、グリニッジ標準時（GMT）の午前 1 時 30 分にインク注文のおすすめを送信します。
- 7 **完了**をクリックします。

## InkWise 在庫

Fiery InkWise web アプリケーションにログオンした後、Fiery InkWise 在庫ページを表示できます。

Fiery Dashboard の **InkWise** アイコンをクリックすると、Fiery InkWise web アプリケーションにアクセスできます。

**InkWise 在庫** ページでは、次のことが可能になります。

- 新規インクを追加およびインクを一括数量で在庫に追加する。
- 次の情報を含むインク在庫テーブルを表示します。
  - インク名、部品番号、関連するプレスモデルのリスト
  - 在庫の各インクを使い切る予測日
  - 在庫の各インクに関する、ボトル単位と週単位の予備数
  - 在庫のインクボトルの使用可能な数
  - 1 本あたりのインク量（リットル/kg）
  - 各インクの使用可能な合計量（リットル）
  - インクの有効期限日および有効期限までの日数/有効期限を過ぎた日数
- 現在あるインクの種類に関して、新規または予備のボトル数を有効期限日とともにアップデートする。
- 新規のインク注文をインポートする。
- 現在の在庫リストをエクスポートする。
- インク注文のおすすめ設定を変更する。

## 新規インクを追加

Fiery InkWise の在庫に新規インクを追加できます。

- 1 Fiery InkWise で、**新規インク**をクリックします。
- 2 **新規 SKU の追加**を選択します。
- 3 **カラーリスト**から、新規インクのカラーを選択します。
- 4 **部品名**フィールドに、新規インクの名前を入力します。
- 5 **部品番号**フィールドに、新規インクボトルの部品番号を入力します。
- 6 次の新規インクボトル詳細を入力します。
  - **ボトル当たりのリットル/kg** : ボトルあたりのインク量
  - **使用可能なボトル** : 在庫がある使用可能な新規インクボトルの合計数量
  - **予備保管** : 在庫として確保しておきたい新規インクボトルの最小数量
  - **有効期限日** : 新しいインクボトルの有効期限
- 7 新規インクを使用するプレスモデルの横にあるチェックボックスをオンにします。
- 8 **追加**をクリックします。  
新規インクがインク在庫リストに追加されます。

## 新規インクを複数追加する

Fiery InkWise の在庫に新規インクを複数追加できます。

- 1 Fiery InkWise で、**新規インク**をクリックします。
- 2 **一括追加**を選択します。
- 3 次の新規インクに関する詳細をアップデートします。
  - **部品名** - 新規インクの名前
  - **部品番号** - 新規インクボトルの部品番号
  - **プリンターモデル** - 新規インクを使用するプレスモデル
  - **ボトル当たりのリットル/kg** - 1 ボトルあたりのインク量
  - **使用可能なボトル** - 現在ストックされている使用可能な新規インクボトルの合計数量
  - **予備保管** - ストックに保管する新規インクボトルの最小数量
- 4 **追加**をクリックします。  
新規インクがインクの在庫リストに追加されます。

## 新規納品数量を追加する

インクボトルの新規納品分を既存の Fiery InkWise 在庫に追加できます。

- 1 Fiery InkWise で、**在庫のアップデート**をクリックします。
- 2 **新規納品**を選択します。
- 3 (オプション) 各列の検索ボックスに、インク名、部品番号、プレスモデルを入力してインクの種類を検索します。
- 4 **新規納品**列で、各インクの横に新規ボトルの数を入力します。
- 5 **在庫の保存**をクリックします。  
新規納品数量が、使用可能なボトルの各リストに追加されます。

## 既存の在庫をアップデートする

現在ある Fiery InkWise の在庫に関して、新規、予備、使用可能なインクのボトル数をアップデートする。

- 1 Fiery InkWise で、**在庫のアップデート**をクリックします。
- 2 **現在のストックの調整**を選択します。
- 3 (オプション) 各列の検索ボックスに、インク名、部品番号、プレスモデルを入力してインクの種類を検索します。
- 4 必要に応じて、次の詳細情報をアップデートします。
  - **使用可能なボトル**現在ストックされている使用可能なインクボトルの合計数量
  - **予備保管** - ストックに保管するインクボトルの最小数量
- 5 **在庫の保存**をクリックします。  
既存の在庫がアップデートされます。

## インクの編集

InkWise Inventory ページでインクを編集できます。

- 1 **InkWise 在庫**ページで、編集するインクを選択します。
- 2 必要に応じて、次の詳細情報を編集します。
  - **部品名** {nbh} インクの名前
  - **部品番号** {nbh} インクの部品番号
  - **予備保管** {nbh} ストックに保管するインクボトルの最小数量
  - **ボトル数** {nbh} 追加する新しいボトルの数
  - **有効期限** {nbh} 新しいボトルの有効期限日

追加アイコンをクリックして、有効期限日の異なる新規インクを追加できます。

- 3 **アップデート**をクリックします。

## インクの削除

Fiery InkWise の在庫からインクを削除できます。

- 1 **InkWise 在庫**ページで、削除するインクを選択します。
- 2 (オプション) 各列の検索ボックスに、インク名、部品番号、プレスモデルを入力してインクの種類を検索することもできます。
- 3 削除アイコン (🗑️) をクリックします。
- 4 **はい**をクリックします。  
選択したインクがインクの在庫リストから削除されます。

## インクデータのインポート

新規納品分の Microsoft Excel ファイルを指定した形式でインポートして、Fiery InkWise の在庫に素早く追加できます。

- 1 Fiery InkWise で、**インポート**をクリックします。
- 2 **ファイルの選択**をクリックします。
- 3 **参照**ウィンドウで、インポートするインクデータファイルに移動します。  
インクデータファイルは.xlsx 形式または.xls 形式で、**名前**および**新規納品**の列が含まれている必要があります。
- 4 インクデータファイルを選択し、**開く**をクリックします。
- 5 必要に応じて、**新規納品**列のボトル数量をアップデートします。
- 6 **Update**をクリックします。  
新規インクボトルがインク在庫リストに追加されます。


## インクデータのエクスポート

Fiery InkWise から現在のインク在庫をエクスポートできます。

- Fiery InkWise で、**エクスポート**をクリックします。  
在庫内のインクデータを含むファイルが、ローカルのシステムにダウンロードされます。

## インク注文のおすすめ設定を変更する

Fiery InkWise 在庫ページでインク注文のおすすめを変更できます。

- 1 Fiery InkWise で  をクリックします。
- 2 切り替えキーを使用して、インク注文のおすすめを有効もしくはは無効にします。
- 3 インクサプライヤーのターンアラウンドタイムを変更します。
- 4 E メールアドレスを変更し、インク注文のおすすめを受信します。
- 5 **アップデート** をクリックします。

## InkWise (BETA)

InkWise モバイルアプリケーションがインクの在庫を表示し、インクラベルをスキャンしてインクを追加、変更または削除できるようにします。

モバイルアプリケーション InkWise では、次のことが可能です。

- インクラベルをスキャンするか、インク詳細を手動で入力して、インクを追加、更新または削除します。
- インクの在庫を表示します。
- インクボトルの予備数量を変更します。
- 在庫からインクを削除します。
- インク順序のおすすめ設定を変更します。

## サポートされるモバイルデバイス

次のモバイルデバイスでサポートされている InkWise モバイルアプリケーション：

- Android 5.0 以降
- iOS 9.0 以降

**メモ：** InkWise は、Android、iPhone、iPad で利用できます。

## サポートプリントデバイス

現在サポートしている大型プレスのリストは、<https://resources.fiery.com/iq/supported-printers> を参照してください。

## インクの検索

InkWise モバイルアプリケーションでインクを検索できます。

- 1 Fiery アカウントログイン情報を使用して、InkWise アプリケーションにログインします。
- 2 右上角にある拡大鏡のアイコン (Q) をタップします。

- 3 検索フィールドにインクの名前、種類または部品番号を入力します。  
指定したインク名、種類または部品番号に関連するインクが表示されます。
- 4 インク詳細を表示または編集するには、リストから希望するインクをタップします。
- 5 **インクログを表示**をタップして、インクログを表示します。
- 6 **My Inks** ページに戻るには、左上角の矢印アイコン (←) をタップします。

## インク詳細

インク詳細ページでは、次の情報を表示できます。

- インクの製品名
- 部品番号
- ボトル単位と週単位のインク予備量
- 使用可能なインクボトル数
- インクの在庫切れとなる予測日
- インクの有効期限日および有効期限までの日数/有効期限を過ぎた日数
- 関連プレス モデル

## インクの追加および変更

InkWise モバイルアプリケーションで、新規インクを追加したり、インク量を変更したりできます。

- 1 Fiery アカウントログイン情報を使用して、InkWise モバイルアプリケーションにログオンします。
- 2 スキャンアイコン (📷) をタップし、インクボトルのラベルをスキャンして、**スキャン**をタップします。  
インク詳細が画面に表示されます。**再撮影**をタップして、ラベルをもう一度スキャンできます。
- 3 インク詳細が正確ではない場合は、次の手順を実行します。
  - **詳細を手動で入力**をタップします。
  - 新規インクボトルの部品番号を入力します。
  - **ストックに追加**をタップして、手順 5 (94 ページ) に進みます。
- 4 インク詳細が正確であれば、**続行**をタップしてからボトルアイコンを上スライドさせてインクボトルを追加します。  
ボトルを削除する場合は、ボトルアイコンを下スライドして、**ストックをアップデート**をクリックします。
- 5 **新規インクを追加**ウィンドウで、次から該当する詳細を入力または変更します。
  - **有効期限日** {nbh} 新しいインクボトルのインク有効期限
  - **予備保管** {nbh} スtockに保管する新規インクボトルの最小数量
  - **追加するボトル数** {nbh} 現在ストックされている使用可能な新規インクボトルの合計数量

• このインクを使用してプリンターモジュールを選択 -

- **プリンターを選択**をタップします。
- 新規インクを使用するプレスモデルの横にあるチェックボックスをタップします。
- **完了**をタップします。

**6 ストックに追加**をタップします。

新規インクがインク在庫に追加されます。

**7** 別のインクを追加する場合は、**他のインクを追加してスキャン**をタップしてステップ **2** (94 ページ) と **6** (95 ページ) を繰り返します。

## ボトル予備数の変更

InkWise モバイルアプリケーションでボトルの予備数を変更できます。

- 1** Fiery アカウントログイン情報を使用して、InkWise アプリケーションにログインします。
- 2** 在庫リストから修正するインクをタップします。
- 3** 右上隅のもっと見るアイコン (⋮) をタップし、編集 (✎) アイコンをタップします。
- 4** 週単位およびボトル単位でのインクの**予備量**を入力します。
- 5** 右上隅の完了アイコン (✓) をタップします。

## インクの削除

InkWise モバイルアプリケーションでインクを削除できます。

- 1** Fiery アカウントログイン情報を使用して、InkWise アプリケーションにログインします。
  - 2** 在庫リストから削除するインクをタップします。
  - 3** 左上隅のもっと見るアイコン (⋮) をタップし、削除 (🗑) アイコンをタップします。
  - 4** **はい、削除します**をタップします。
- 選択したインクがインクの在庫リストから削除されます。

## プレス詳細の表示

使用しているプレスの詳細は、InkWise モバイルアプリケーションで表示することができます。

- 1** Fiery アカウントログイン情報を使用して、InkWise アプリケーションにログインします。
- 2** **My Printers** をタップします。
- 3** リストからプレスをタップして、詳細を表示します。

## インク順序のおすすめ設定を変更する

InkWise モバイルアプリケーションでインク順序のおすすめ設定を変更できます。

- 1 Fiery アカウントログイン情報を使用して、InkWise アプリケーションにログインします。
- 2 **アカウント**をタップします。
- 3 **設定**をタップして設定を変更します。
- 4 インク順序に関するおすすめを受信するには、インクサプライヤーのターンアラウンドタイムと E メールアドレスをアップデートします。
- 5 右上角の削除アイコン (✓) をタップします。

## 通知の表示

古い通知は、InkWise モバイルアプリケーションで表示できます。

- 1 Fiery アカウントログイン情報を使用して、InkWise アプリケーションにログインします。
- 2 **通知**をタップします。
- 3 **すべて**、**ストック**または **有効期限**のタブを選択して、関連する通知を表示します。

## InkWise からのログオフ

InkWise モバイルアプリケーションからログオフするには、次の操作を行います。

- 1 InkWise モバイルアプリケーションで、**アカウント**をタップします。
- 2 **ログアウト**をタップします。

## Fiery Notify

Fiery Notify によって、プロダクションブロックイベントの警告やプロダクションレポートの通知をスケジュールできます。

Fiery Notify アプリケーションを使用すると、次のことが可能になります。

- プロダクションブロックイベントの警告とプロダクションレポートの通知をオンにする
- 各通知タイプの状況表示
- 警告スケジュールの設定

## サポートプリントデバイス

Fiery Notify は、Fiery システムソフトウェア FS200/200 Pro 以降を実行する Fiery サーバーに接続された産業用プレス および大型プレスに対応しています。



現在サポートしている産業用プレスおよび大型プレスのリストは、<https://resources.fiery.com/iq/supported-printers> を参照してください。

## プロダクションブロックイベントに関する警告を有効にする

登録されている Fiery サーバーのプロダクションがブロックされると、Fiery Notify が登録されている E メールアドレスに警告を送信します。

- 1 **Notify** アプリケーションで、**プロダクションブロックの警告**に移動します。
- 2 **設定**をクリックします。  
もしくは、切り替えボタンをクリックします。
- 3 プロダクションブロックの警告を受け取る間隔を選択します。
- 4 **完了**をクリックします。
- 5 ウィンドウが表示されたら、**完了**をクリックします。

## プロダクションレポートの通知を有効にする

Fiery Notify は、登録済み E メールアドレスに、登録した Fiery サーバーのプロダクション詳細を送信します。

- 1 **Notify** アプリケーションで、**プロダクションレポート**に移動します。
- 2 **設定**をクリックします。  
もしくは、切り替えボタンをクリックします。
- 3 プロダクションレポートを受け取る間隔を選択します。  
プロダクションレポートの受け取りに設定できる間隔は、毎日、毎週、または毎月です。
- 4 **完了**をクリックします。
- 5 ウィンドウが表示されたら、**完了**をクリックします。  
次の点に注意してください。
  - Fiery Notify は、現地時間の午前 3 時にプロダクションレポート通知を送信します。週次レポートは毎週日曜日に送信され、月次レポートは翌月初日に送信されます。
  - プロダクションレポートには、アクティブなデバイスに関する情報のみが含まれます。

## 警告と通知の変更

Fiery Notify の警告や通知の間隔を変更できます。

- 1 **Notify** アプリケーションで、変更する警告または通知に移動します。  
通知または警告がオンになっている場合、**状況列**に**アクティブ**と表示されます。
- 2 **設定**をクリックします。

- 3 間隔を変更します。
- 4 **完了**をクリックします。
- 5 ウィンドウが表示されたら、**完了**をクリックします。

## 警告の無効化

Fiery Notify からの警告または通知を無効にできます。

- 1 **Notify** アプリケーションで、無効にしたい通知に移動します。
- 2 アクティブになっている切り替えボタンをクリックして、通知または警告を無効にします。  
通知または警告が無効になっている場合、**状況列**に**非アクティブ**と表示されます。

# Fiery IQ のトラブルシューティング

次に記載されているトラブルシューティングの手順で問題が解決しない場合は、関連情報を収集した上でテクニカルサポートにお問い合わせください。

より詳細な情報やサポートが必要な場合、登録ユーザーは [Fiery Communities](#) で質問できます。

## 登録メールが届きませんでした

6桁のコードが記載された確認メールが届かない場合は、メールアプリケーションの設定で別のフォルダーに振り分けられている場合があります。

- 確認メールを見つけるには、次のいずれかまたは両方の操作を行います。

- 他のメールフォルダを確認します。

Eメールが誤ってスパムまたは迷惑メールとして分類されている可能性があります。ご自分で作成したフォルダーも確認してください。

- Eメールのフィルタールールを確認します。

メールアプリケーションで、フィルタールールの設定を開きます。[noreply@fiery.com](mailto:noreply@fiery.com) のルールが含まれている場合は、ルールを削除または編集して、確認メールが受信トレイに届くようにします。また、フィルタールールにより [noreply@fiery.com](mailto:noreply@fiery.com) からの Eメールが振り分けられるフォルダーも確認してください。